

組立・施工説明書

ダウンライト

SS ポートGⅢ

ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「ダウンライト」の組み立て、施工について説明しています。
本体に同梱、または別冊の組立・施工説明書をあわせて参照してください。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書内の表記

警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表 記	意 味
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じられる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表 記	意 味
	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。
- 本説明書内の図はゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢを示しています。

もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.3
施工時に用意いただくもの	P.3
同梱一覧	P.4
全体構成図	P.5
取り付け時の注意事項	P.5
部材の切断・加工（単体（1 台用・2 台用）・ 梁延長（6000 延長）、横連棟・間口延長【電源端柱側】）	P.6
梁配線カバーの切断	P.6
柱配線カバーの切断・加工	P.8
梁、柱の加工	P.9
部材の切断・加工（単体（3 台用）・ 梁延長（7800 延長））	P.10
梁配線カバーの切断・加工	P.10
柱配線カバーの切断・加工	P.13
梁、柱の加工	P.14
部材の切断・加工（間口延長・横連棟【電源端柱側】）	P.16
梁配線カバーの切断・加工	P.16
柱配線カバーの切断・加工	P.18
梁、柱の切断・加工	P.19
配線用カバーの組み立て・施工	P.20
CD 管の配管	P.20
柱配線カバーの取り付け	P.26
柱の埋め込み	P.28
梁配線カバーの取り付け	P.29
配線およびセンサー、照明の取り付け 電気工事含む	P.31
梁配線カバー材加工用型紙	P.32
照明加工用手順	P.32
センサー加工用手順	P.33

安全にお取り扱いいただくために

作業前に確認してください

- 本体に同梱、または別冊の組立・施工説明書を参照してください。

作業前の確認

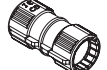
施工時に用意いただくもの

- 施工時に必要になる電線・電線管を確認してください。
- 市販品の照明も取り付け可能です。

	1本の梁	2本の梁	3本の梁	4本の梁
ダウンライト照明	2個	4個	6個	8個
合成樹脂可とう電線管（波付CD管呼び径16） AC100V側（電源側～照明CD管付属部品まで）	1本	1本	1本	1本
合成樹脂可とう電線管（波付CD管呼び径16） 梁～梁接続用	—	1本	2本	3本
サージプロテクター	1	1	1	1
センサー（選択）	1	1	1	1

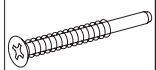
同梱一覧

■柱配線カバー

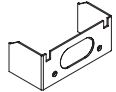
姿 図						
品 名	柱配線ベース材	柱配線カバー材	CD管 (呼び径16)	CD管用カップリング (呼び径16)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	3K-83395	3K-83394	K-39655	K-39657	ET-5010	ET-5010
MCD-(DS)QN-BA1-25	1	1	2	2	6	6
MCD-(DS)QN-BA1-30	1	1	2	2	6	6
備 考	—	—	—	—	柱配線ベース材 取り付け用	柱配線カバー材 取り付け用

姿 図	—	—	—
品 名	組立・施工 説明書	電気工事説明書	取扱説明書
品 番	—	—	—
MCD-(DS)QN-BA1-25	1	1	1
MCD-(DS)QN-BA1-30	1	1	1
備 考	—	—	—

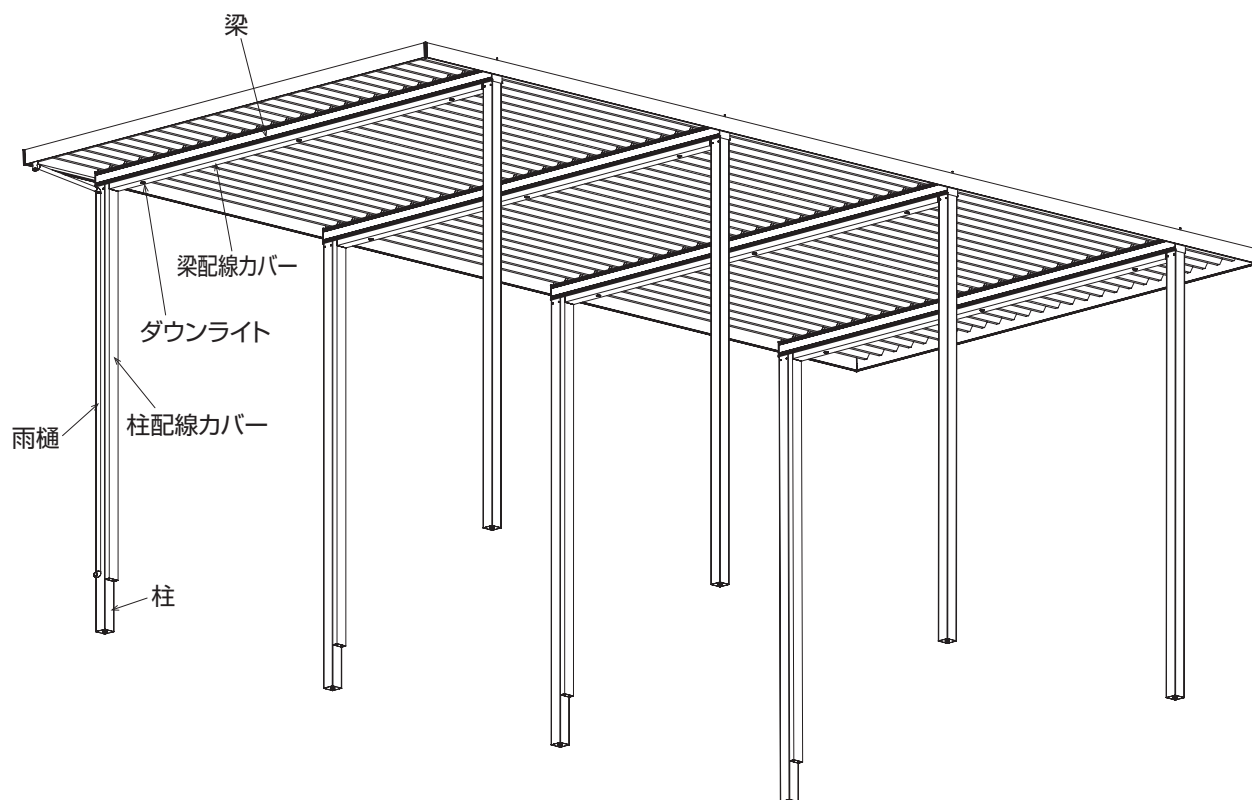
■梁配線カバー

姿 図							
品 名	梁配線 ベース材	梁配線 カバー材	端部キャップ	端部キャップ	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	皿タッピンねじ2種 (φ4×30)
品 番	3K-83395	3K-83394	7K-10794	7K-10795	ET-5010	ET-5010	BF-4030GD7
MCD-(DS)QN-BB1-36	1	1	1	1	6	6	4
MCD-(DS)QN-BB1-60	1	1	1	1	10	10	4
MCD-(DS)QN-BBA1-60	1	1	—	2	10	10	4
備 考	—	—	配線穴無し	配線穴あり	梁配線ベース材 取り付け用	梁配線カバー材 取り付け用	端部キャップ 取り付け用

■連結柱カバー部品

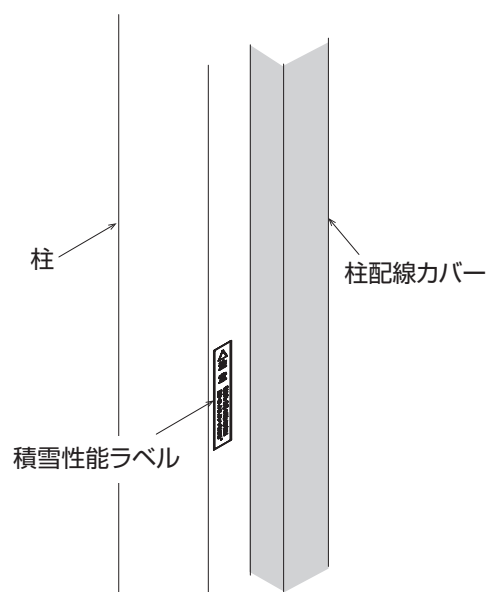
姿 図		
品 名	連結柱カバー	皿タッピンねじ (φ4×8)
品 番	7K-10806	BF-4008D7
MCD-(DS)QN-A1	1	2
備 考	配線穴無し	連結柱カバー 取り付け用

全体構成図



取り付け時の注意事項

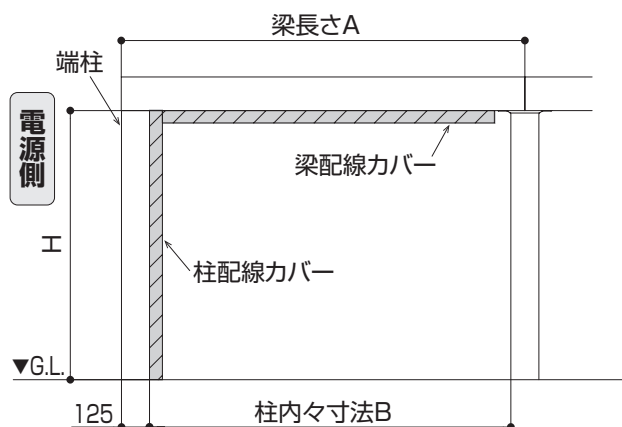
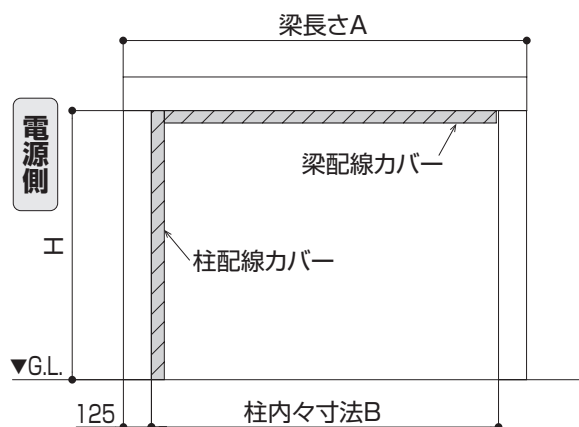
- 1 柱に貼り付けてある、積雪性能ラベルが隠れていないことを確認してください。
隠れる場合は、配線カバーの位置を変更してください。



部材の切断・加工（単体（1 台用・2 台用）・梁延長（6000 延長）、横連棟・間口延長【電源端柱側】）

・図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

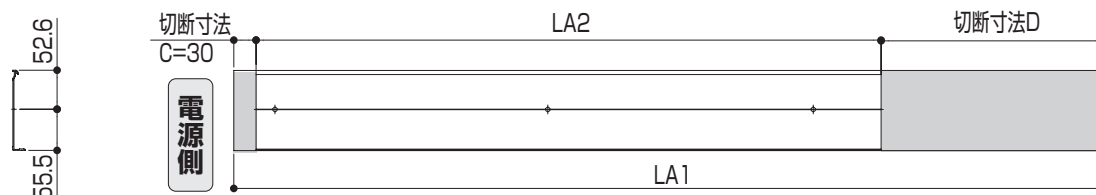
- 単体 1 台用・2 台用・梁延長（6000 延長）
- 横連棟・間口延長【電源端柱側】



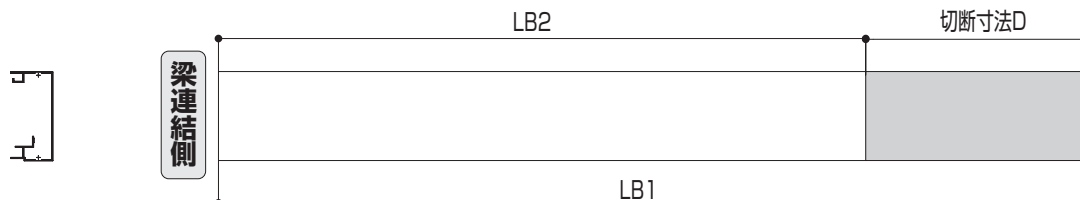
梁配線カバーの切断

1 梁配線ベース材、梁配線カバー材を切断してください。

- 梁配線ベース材



- 梁配線カバー材



■アーバンルーフⅡ

間口呼称	梁長さA	柱内々寸法B	配線カバーユニット	梁配線ベース材長さ		梁配線カバー材長さ		切断寸法	
				LA1	LA2	LB1	LB2	C	D
D30	3000	2748	MCD-(DS)QN-BB1-36	3273	2643	3274	2674	30	600
D36	3600	3348		3273	3243	3274	3274	30	－
D48	4800	4548	MCD-(DS)QN-BB1-60	5673	4443	5674	4474	30	1200
D55	5400	5148		5673	5043	5674	5074	30	600
D60 ・ 梁延長 (6000延長)	6000	5748		5673	5643	5674	5674	30	－

■SSポートGⅢ、ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

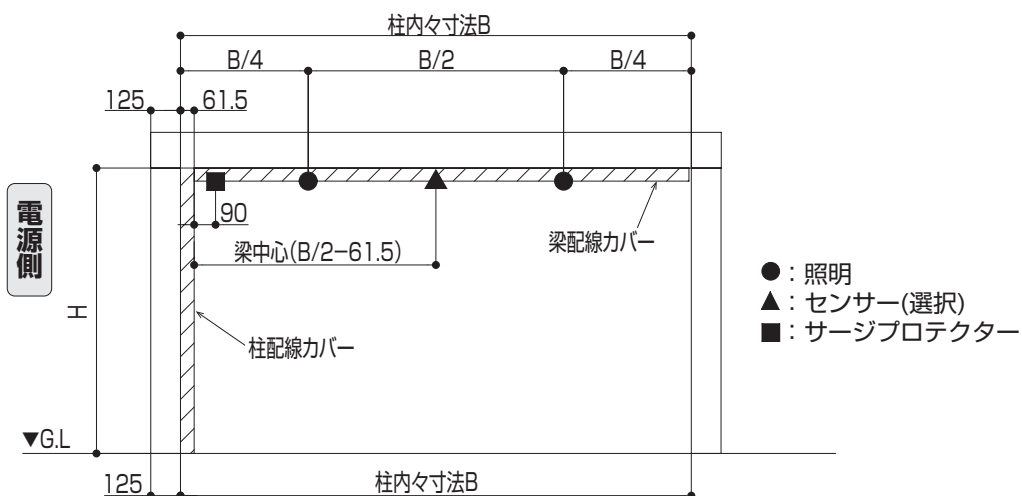
間口呼称	梁長さA	連結柱 見付寸法	柱内々 寸法B	配線カバーユニット	梁配線ベース材長さ		梁配線カバー材長さ		切断寸法	
					LA1	LA2	LB1	LB2	C	D
D30	3000	125	2748<2811.5>	MCD-(DS)QN- BB1-36	3273	2643	3274	2674	30	600
		200	<2774>		3273	2605	3274	2636	30	638
D36	3600	—	3348		3273	3243	3274	3274	30	—
D48	4800	125	4548<4611.5>	MCD-(DS)QN- BB1-60	5673	4443	5674	4474	30	1200
		200	<4574>		5673	4405	5674	4436	30	1238
D55	5400	125	5148<5211.5>		5673	5043	5674	5074	30	600
		200	<5174>		5673	5005	5674	5036	30	638
D60・ 梁延長	6000	125	5748<5811.5>		5673	5643	5674	5674	30	—
		200	<5774>		5673	5605	5674	5636	30	38

・<>は間口延長、横連棟の場合

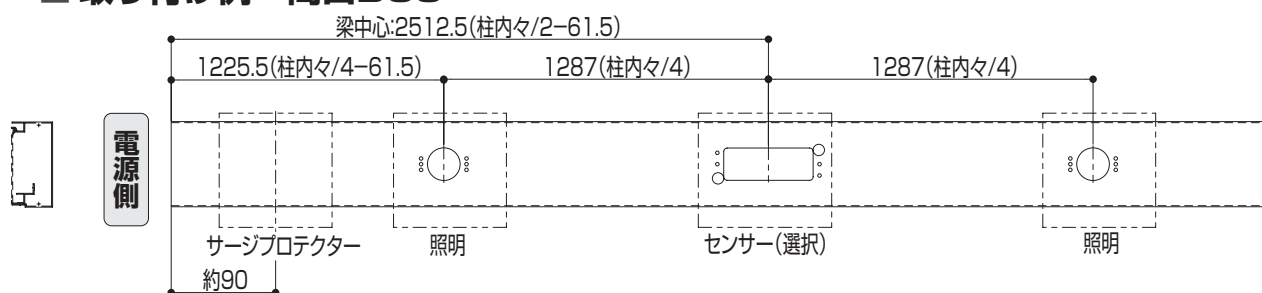
2 自社製の照明、センサー、サージプロテクターの場合

梁配線カバー材に穴加工してください。

■ 照明を2個配置した例

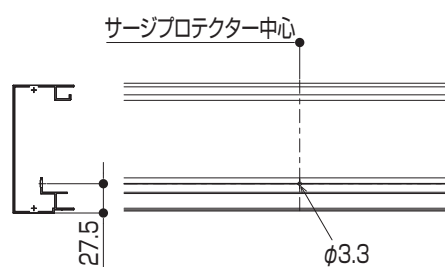


■ 取り付け例：間口D55

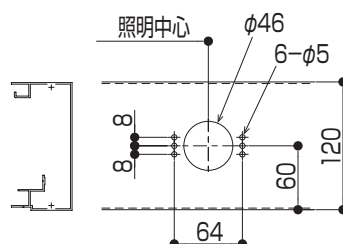


■ 加工詳細

● サージプロテクター

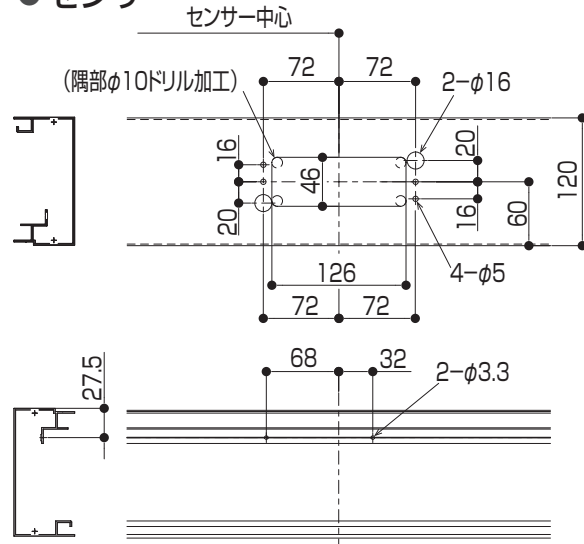


● 照明



型紙を使用すると照明の切り欠き加工を容易にげることができます。

● センサー

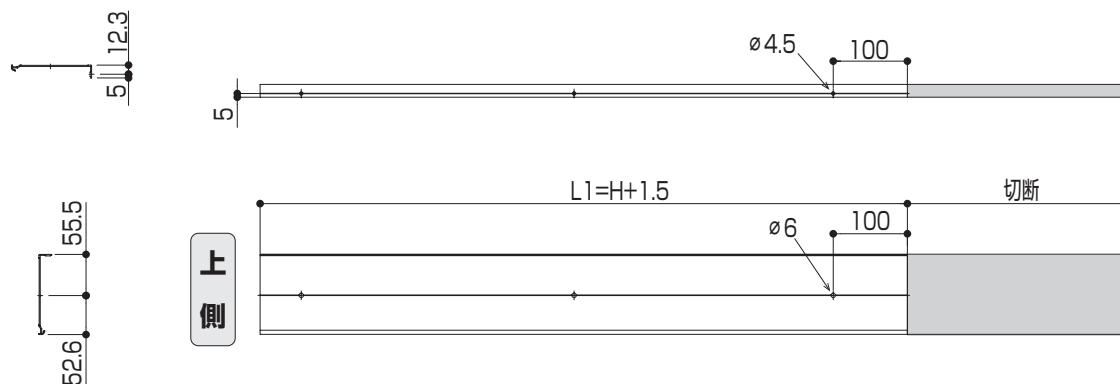


型紙を使用するとセンサーの切り欠き加工を容易にげることができます。
(ヒレ部は別途穴加工が追加となります。)

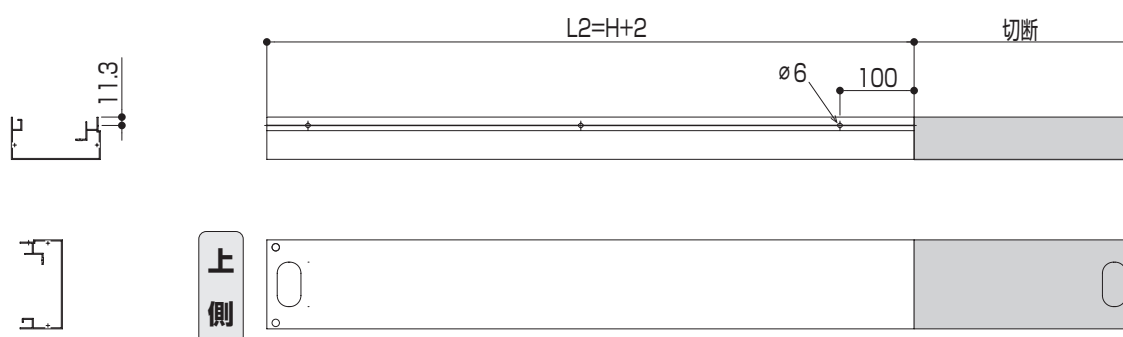
柱配線力バーの切断・加工

1 柱配線ベース材、柱配線力バー材を切断・加工してください。

● 柱配線ベース材

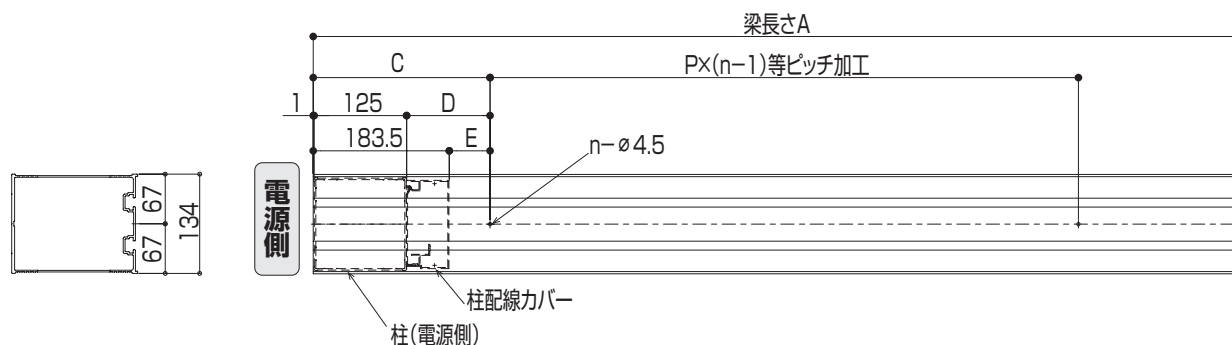


● 柱配線力バー材



梁、柱の加工

1 電源側の梁に穴加工してください。



■アーバンルーフⅡ

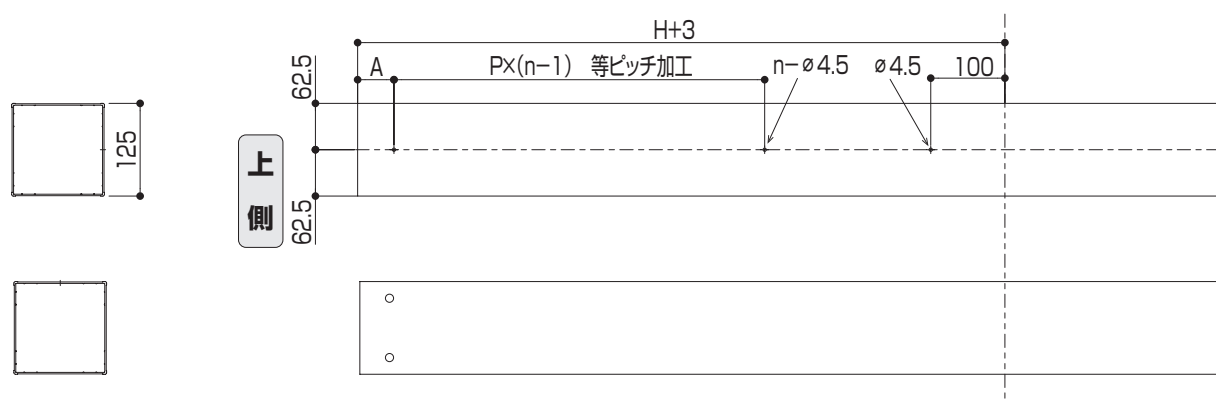
間口呼称	梁長さA	柱内々寸法B	配線カバーユニット	P	n	加工寸法		
						C	D	E
D30	3000	2748	MCD-(DS)QN-BB1-36	634	5	238.5	112.5	55
D48	4800	4548	MCD-(DS)QN-BB1-60	618	8	242.5	116.5	59
D55	5400	5148		618	9			
D60・梁延長	6000	5748		618	10			

■SSポートGⅢ、ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

間口呼称	梁長さA	連結柱見付寸法	柱内々寸法B	配線カバーユニット	P	n	加工寸法		
							C	D	E
D30	3000	125	2748<2811.5>	MCD-(DS)QN-BB1-36	634	5	238.5	112.5	55
		200	<2774>		634	5			
D36	3600	—	3348		634	6			
D48	4800	125	4548<4611.5>	MCD-(DS)QN-BB1-60	618	8	59	116.5	59
		200	<4574>		618	8			
D55	5400	125	5148<5211.5>		618	9			
		200	<5174>		618	9			
D60・梁延長	6000	125	5748<5811.5>		618	10			
		200	<5774>		618	10			

・<>は間口延長、横連棟の場合

2 電源側の柱に穴加工してください。



■アーバンルーフⅡ

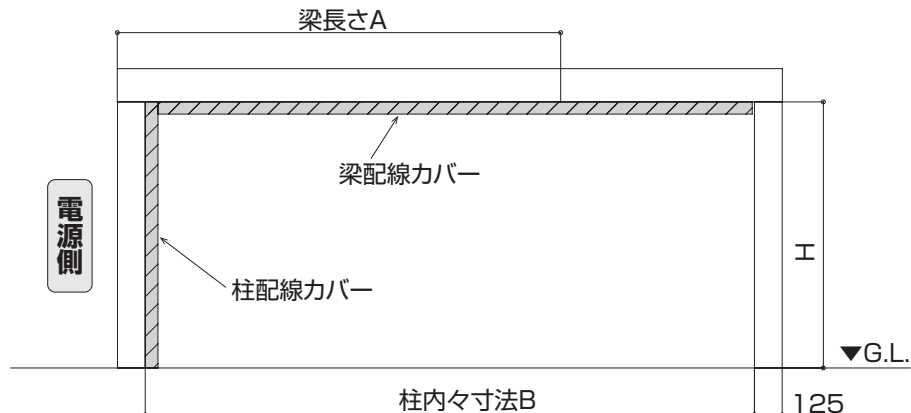
高さ呼称	配線カバーユニット	P	n	A
H24・H25	MCD-(DS)QN-BA1-25	530	5	52
H28	MCD-(DS)QN-BA1-30	630	5	52

■SSポートGⅢ、ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

高さ呼称	配線カバーユニット	P	n	A
H24・H25	MCD-(DS)QN-BA1-25	530	5	52
H30	MCD-(DS)QN-BA1-30	630	5	52

部材の切断・加工（単体（3 台用）・梁延長（7800 延長））

- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。



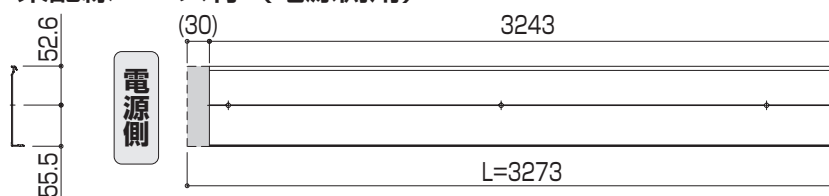
梁配線カバーの切断・加工

- 1 梁配線ベース材、梁配線カバー材を切断・加工してください。

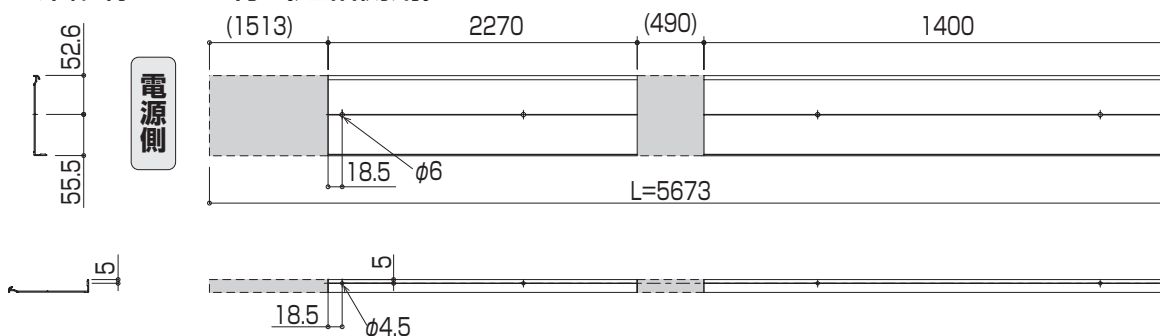
- （ ）寸法は、切断寸法を示しています。

電源側の梁長さ A=6000 の場合

- 梁配線ベース材（電源側用）



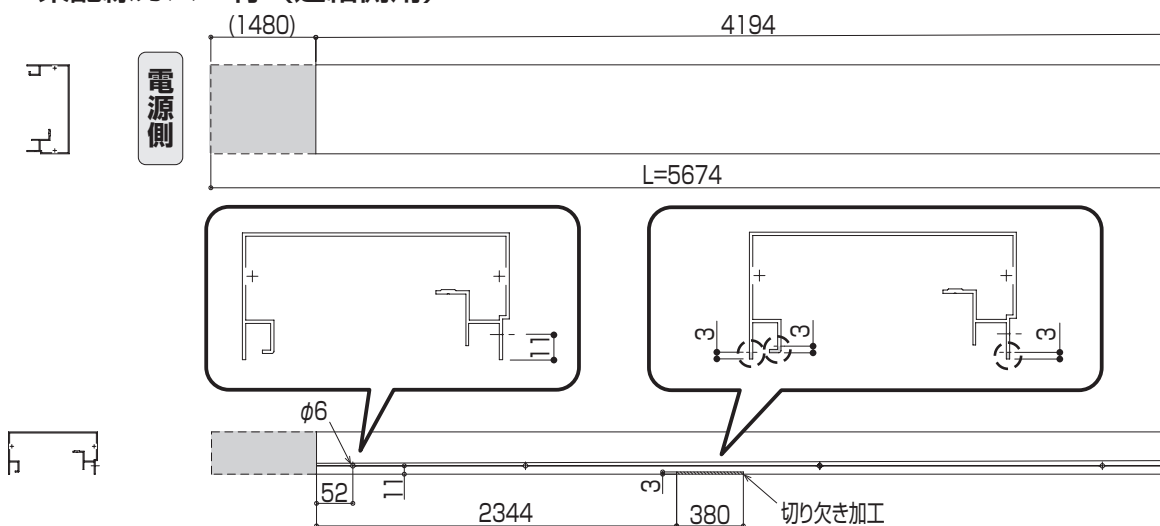
- 梁配線ベース材（連結側用）



- 梁配線カバー材（電源側用）

- ・ 加工無し（L=3274）

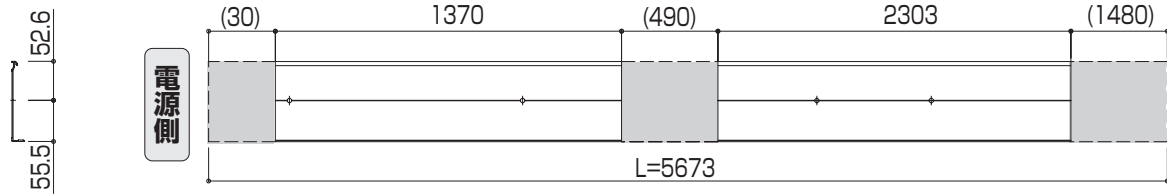
- 梁配線カバー材（連結側用）



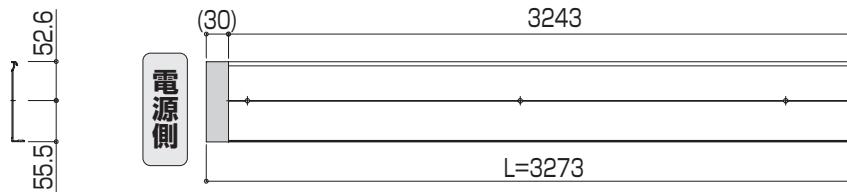
電源側の梁長さ A=1800 の場合

- （ ） 寸法は、切断寸法を示しています。

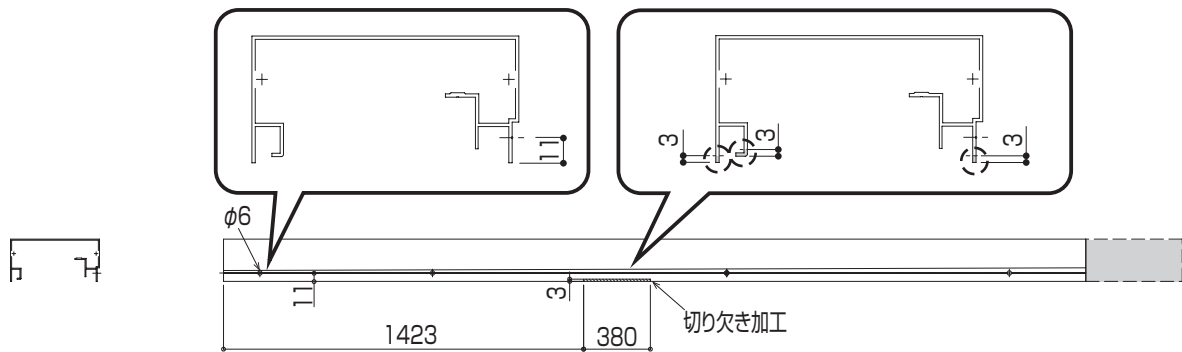
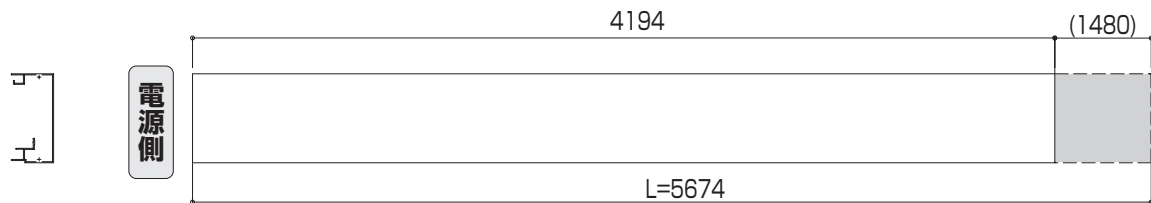
● 梁配線ベース材（電源側用）



● 梁配線ベース材（連結側用）



● 梁配線カバー材（電源側用）

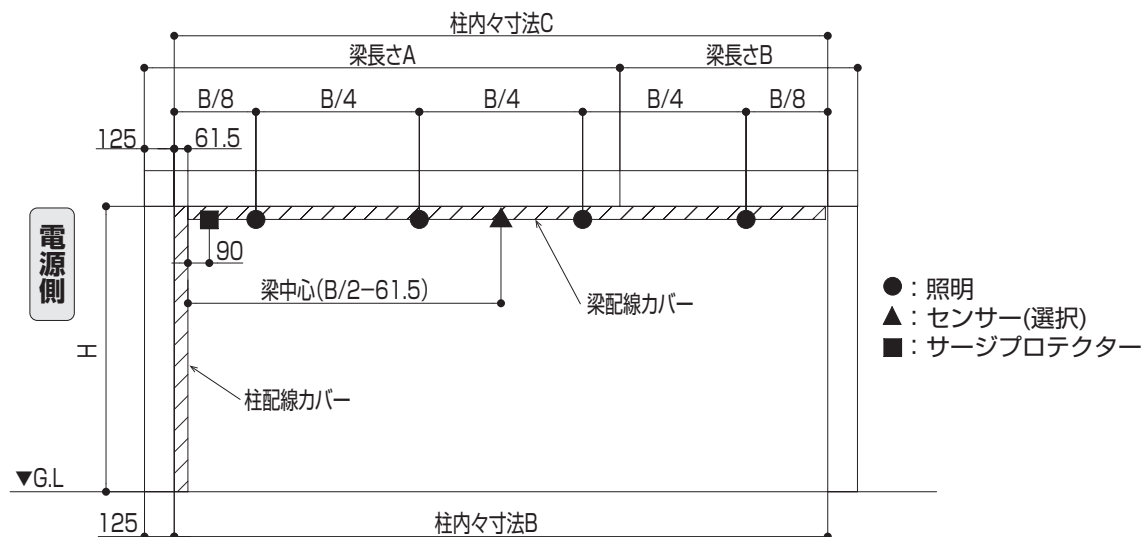


● 梁配線カバー材（連結側用）

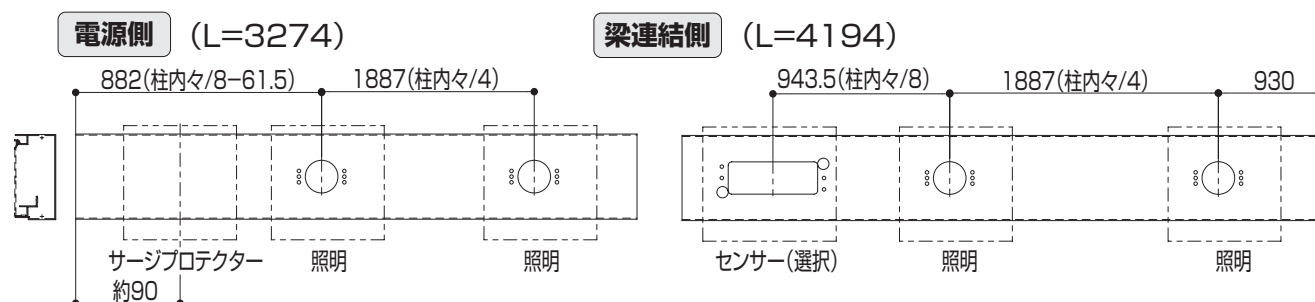
- 加工無し（L=3274）

2 自社製の照明、センサー、サージプロテクターの場合

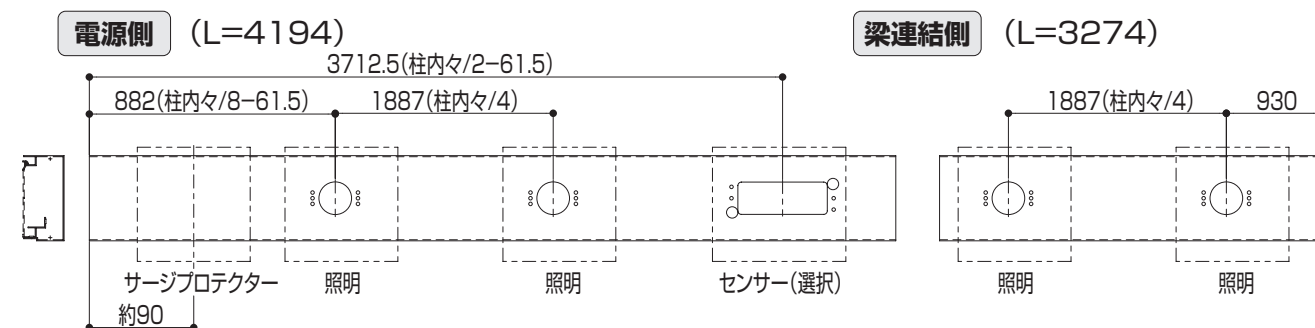
梁配線カバー材に穴加工してください。「加工詳細（→P.7）参照」



電源側の梁長さ A=6000 の場合



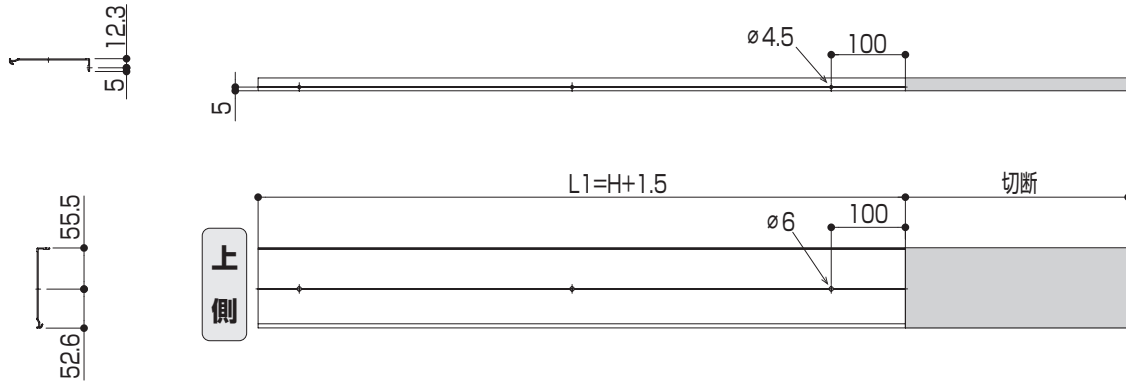
電源側の梁長さ A=1800 の場合



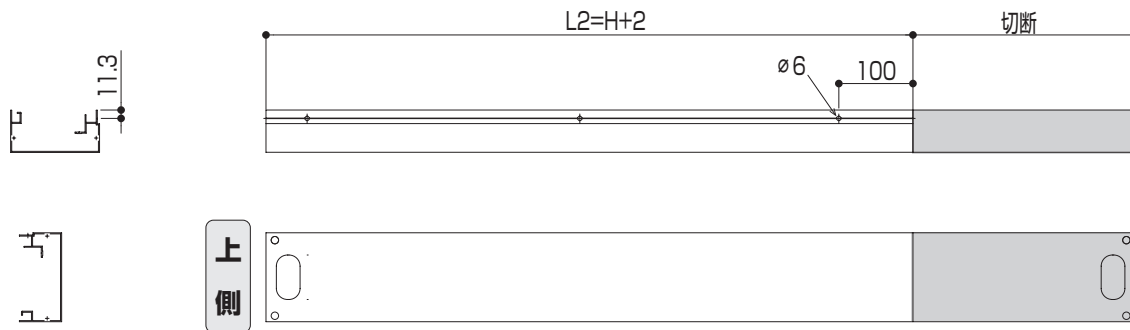
柱配線力バーの切断・加工

1 柱配線ベース材、柱配線力バー材を切断・加工してください。

● 柱配線ベース材



● 柱配線力バー材

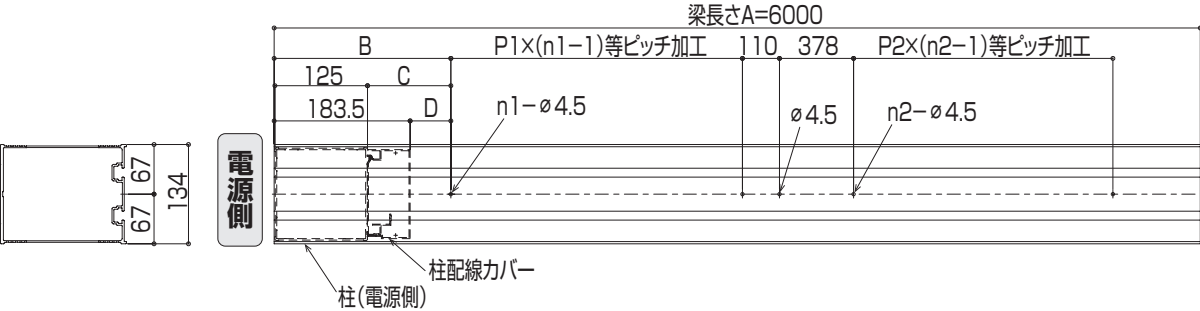


梁、柱の加工

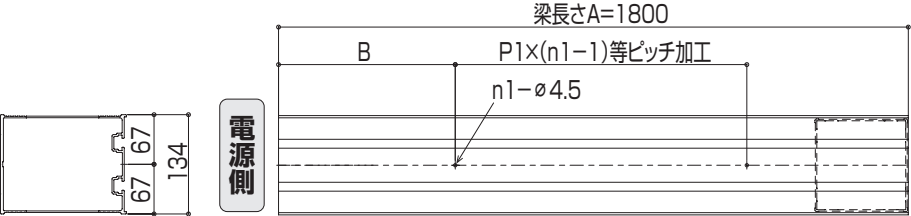
1 梁に穴加工してください。

電源側の梁長さ A=6000 の場合

● 電源側用



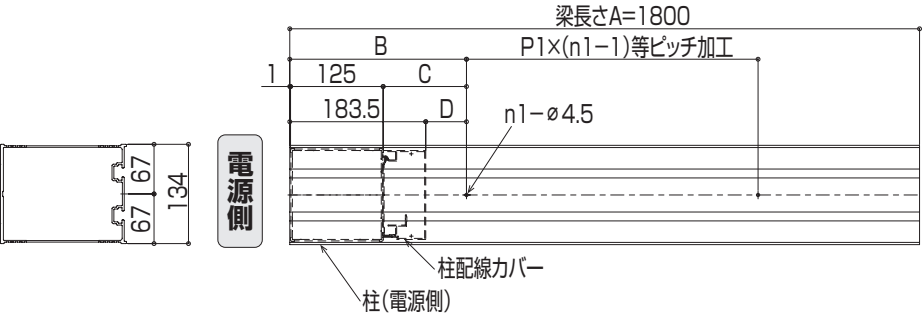
● 梁連結側用



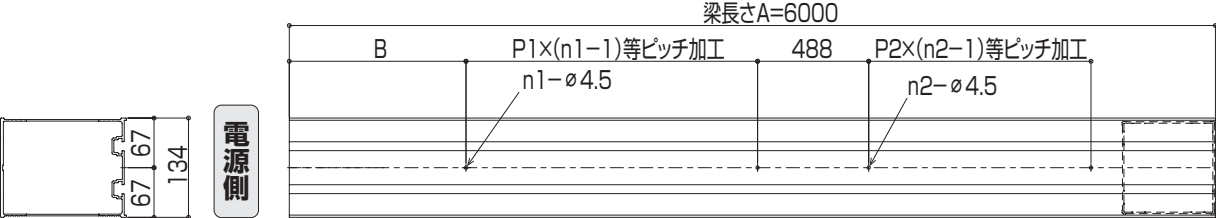
間口呼称	梁の長さA	P1	P2	n1	n2	加工寸法		
						B	C	D
D60・18	6000	634	618	6	4	238.5	112.5	55
	1800	618	—	3	—	368.5	—	—

電源側の梁長さ A=1800 の場合

● 電源側用

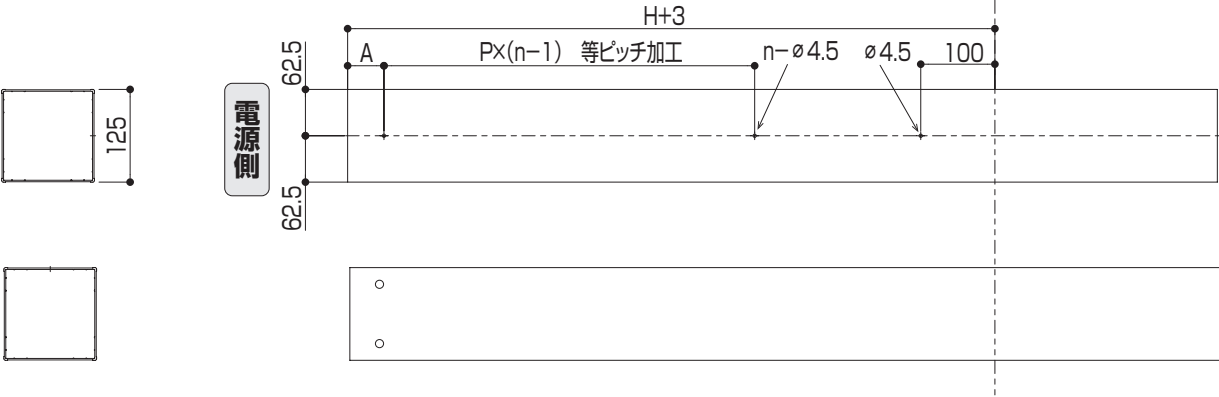


● 梁連結側用



間口呼称	梁長さA	P1	P2	n1	n2	加工寸法		
						B	C	D
D60・18	1800	618	—	3	—	242.5	116.5	59
	6000	618	634	4	6	296.5	—	—

2 電源側の柱に穴加工してください。



■アーバンルーフⅡ

高さ呼称	配線カバーユニット	P	n	A
H24・H25	MCD-(DS)QN-BA1-25	530	5	52
H28	MCD-(DS)QN-BA1-30	630	5	52

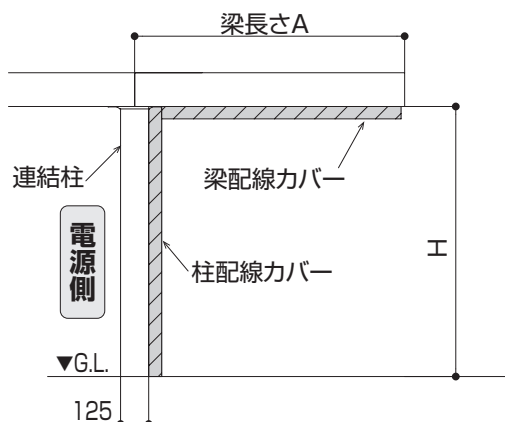
■SSポートGⅢ、ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

高さ呼称	配線カバーユニット	P	n	A
H23・H25	MCD-(DS)QN-BA1-25	530	5	52
H30	MCD-(DS)QN-BA1-30	630	5	52

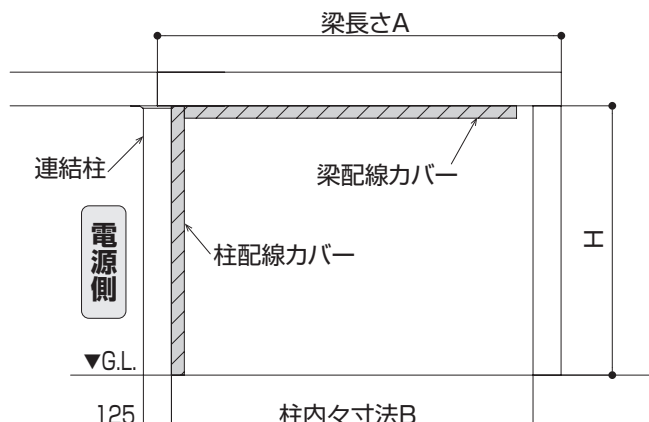
部材の切断・加工（間口延長・横連棟【電源端柱側】）

- ・図は、水下側から見て左側に配線力バー（柱用）を取り付ける場合を示しています。
- ・図は、連結柱が1本の場合です。連結柱が2本の場合は、電源側端柱を参照してください。
「部材の切断・加工（単体(1台用・2台用)・梁延長（6000延長）、横連棟・間口延長【電源端柱側】）」（→P.6)参照]

●間口延長



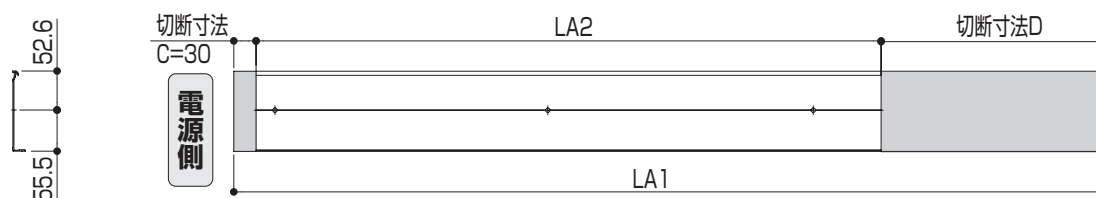
●横連棟



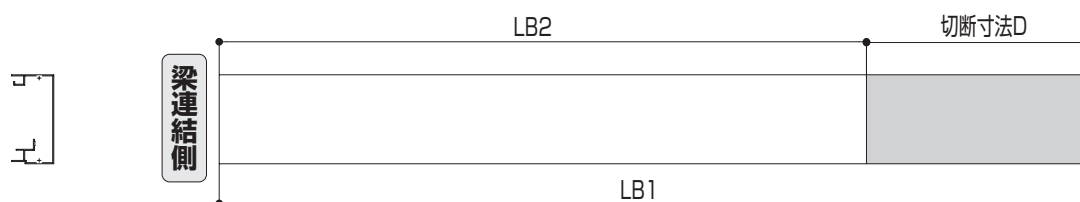
梁配線力バーの切断・加工

1 梁配線ベース材、梁配線力バー材を切断・加工してください。

●梁配線ベース材



●梁配線力バー材



間口呼称	梁長さA	連結柱 見付寸法	柱内々 寸法B	配線力バーユニット	梁配線ベース材 長さ		梁配線力バー材 長さ		切断 寸法C	切断 寸法D
					LA1	LA2	LB1	LB2		
D18	1800	125	—	MCD-(DS)QN- BB1-36	3273	1628	3274	1659	30	1615
		200	—		3273	1590	3274	1621	30	1653
D30	3000	125	2748<2811.5>		3273	2643	3274	2674	30	600
		200	<2774>		3273	2605	3274	2636	30	638
D48	4800	125	4548<4611.5>	MCD-(DS)QN- BB1-60	5673	4443	5674	4474	30	1200
		200	<4574>		5673	4405	5674	4436	30	1238
D55	5400	125	5148<5211.5>		5673	5043	5674	5074	30	600
		200	<5174>		5673	5005	5674	5036	30	638
D60	6000	125	5748<5811.5>		5673	5643	5674	5674	30	—
		200	<5774>		5673	5605	5674	5636	30	38

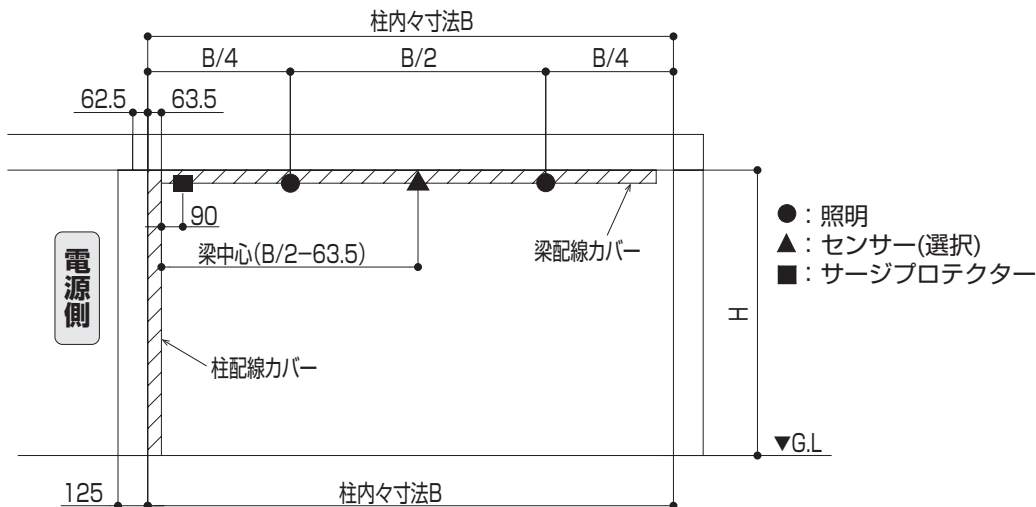
・<>は間口延長、横連棟の場合

2 自社製の照明、センサー、サージプロテクターの場合

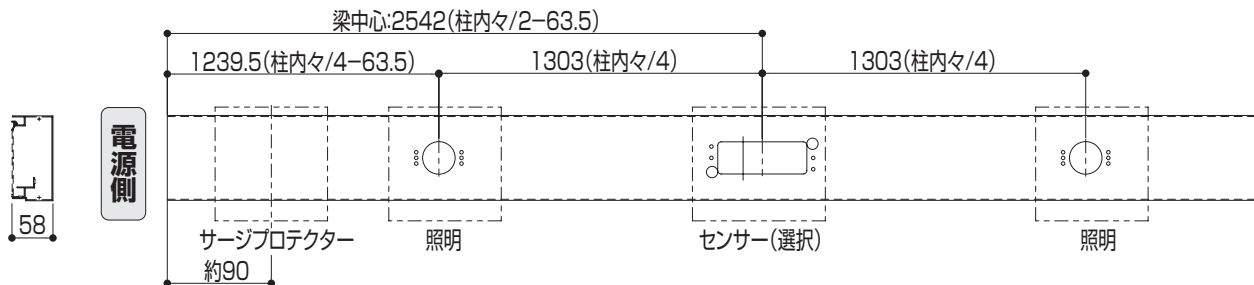
梁配線カバー材に穴加工してください。「加工詳細(→P.7)参照」

横連棟の場合

■ 照明を2個配置した例

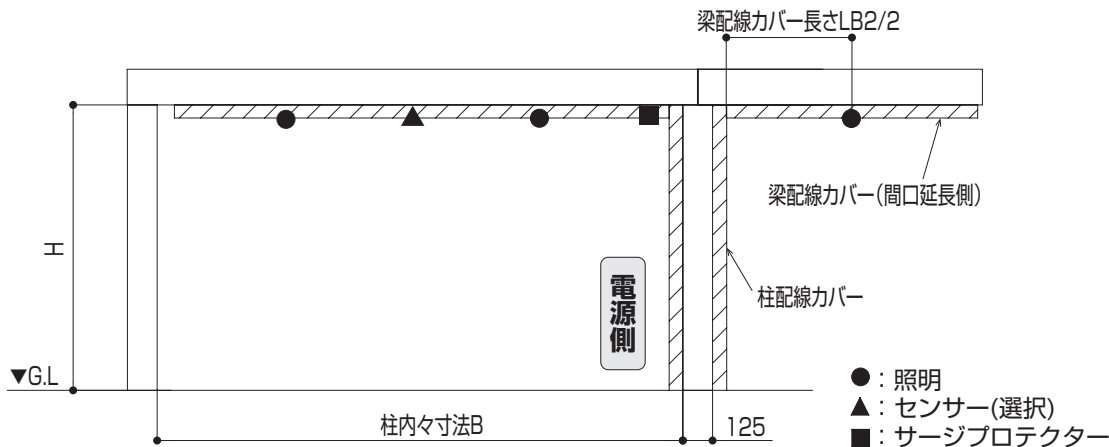


■ 取り付け例：間口D55



間口延長の場合

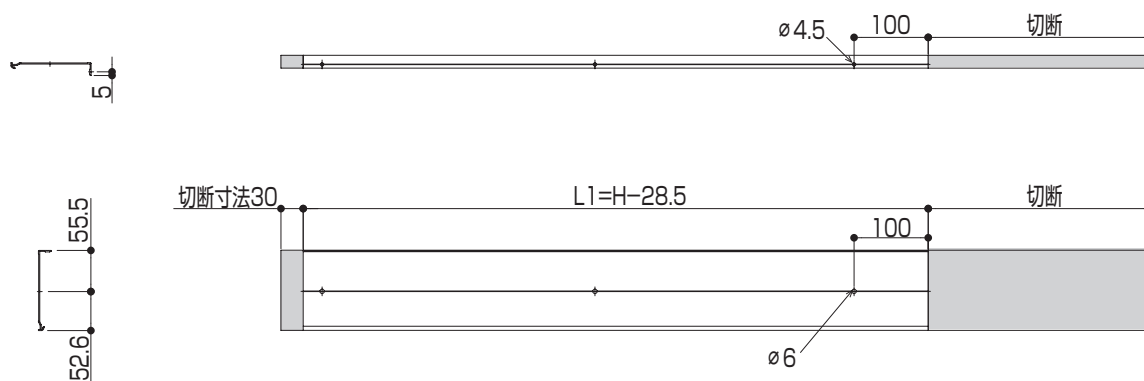
■ 取り付け例：D55+D18の両方に取り付けの場合



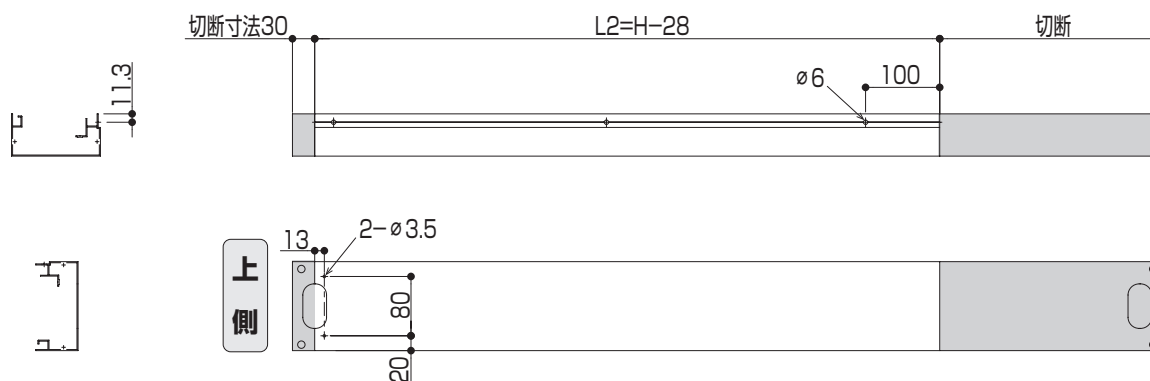
柱配線力バーの切断・加工

1 柱配線ベース材、柱配線力バー材を切断・加工してください。

● 柱配線ベース材

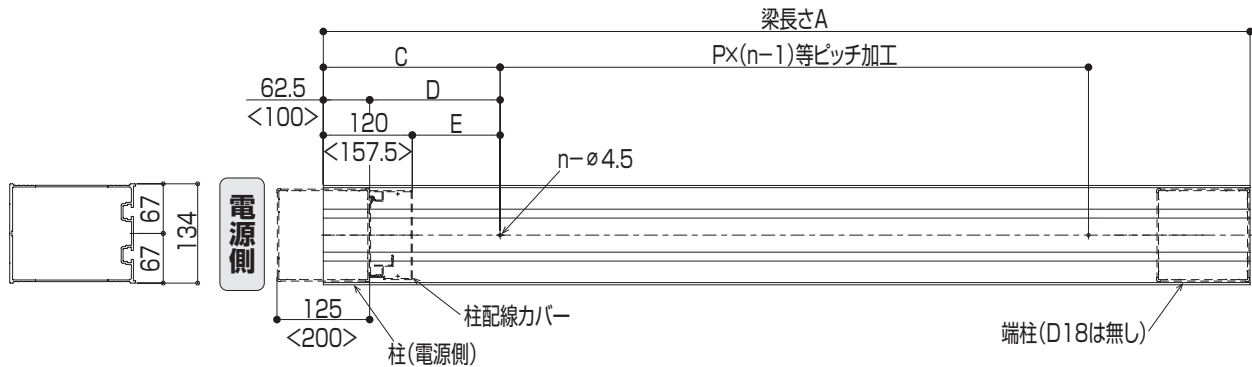


● 柱配線力バー材



梁、柱の切断・加工

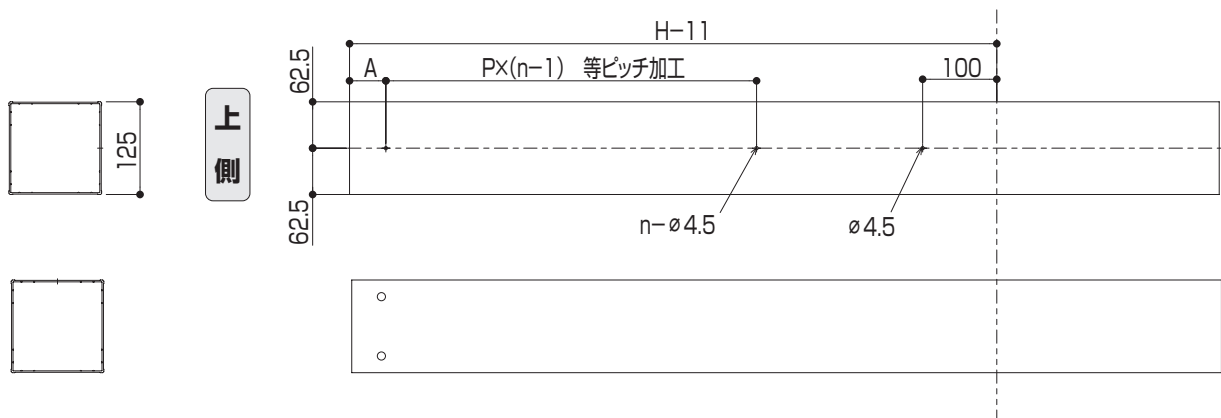
1 電源側の梁に穴加工してください。



間口呼称	梁長さA	柱内々寸法B	配線カバーユニット	P	n	加工寸法		
						C	D	E
D18	1800	—	MCD-(DS)QN-BB1-36	634	3	177 <214.5>	114.5	57
D30	3000	2811.5 <2774>		634	5			
D48	4800	4611.5 <4574>	MCD-(DS)QN-BB1-60	618	8	181 <218.5>	118.5	61
D55	5400	5211.5 <5174>		618	9			
D60	6000	5811.5 <5774>		618	10			

・<>は連結柱の柱見付200仕様の場合

2 電源側の柱に穴加工してください。



高さ呼称	配線カバーユニット	P	n	A
H23・H25	MCD-(DS)QN-BA1-25	530	5	38
H30	MCD-(DS)QN-BA1-30	630	5	38

配線用カバーの組み立て・施工

CD 管の配管

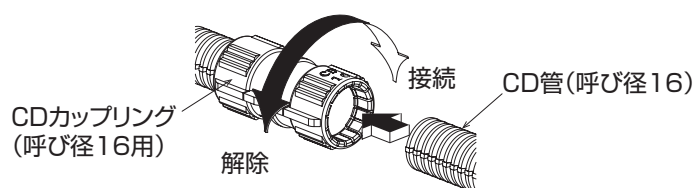
お願い

- 本商品に付属しているCD管はコンクリート内埋設用です。
屋外への露出や直接地中内埋設などの配管はしないでください。
配管が割れ、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- ダウンライト、センサーをどの梁に取り付けるのかで、CD管の配管が変わります。
- センサーが取り付く梁が入力側となります。
- CD管、CD管用カップリングなど、柱配線カバーに1個同梱されています。

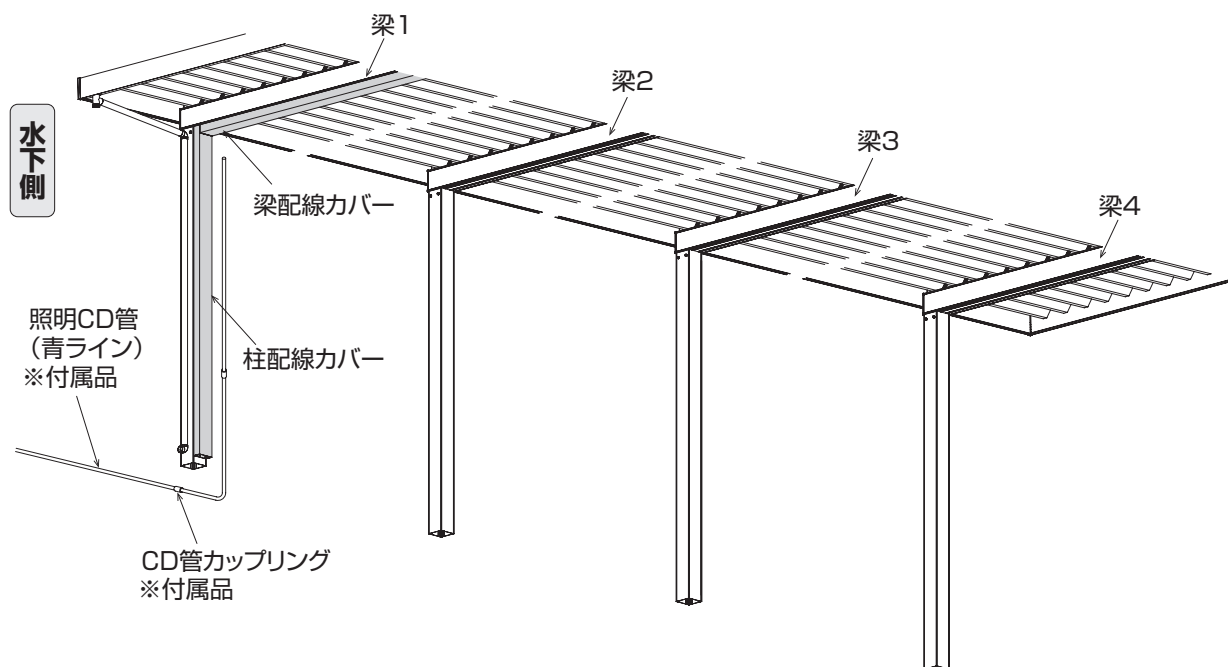
■ CD管の連結方法



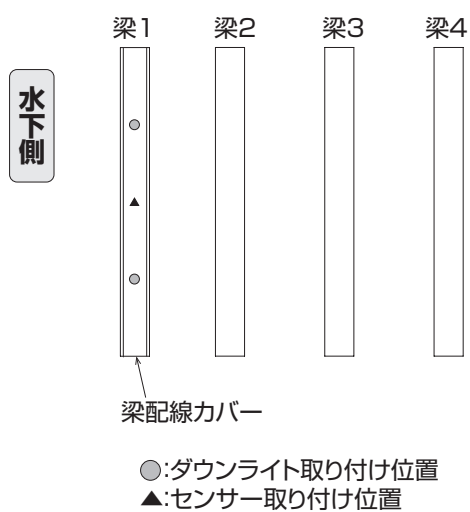
1本の梁にダウンライト2個を配置

- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図



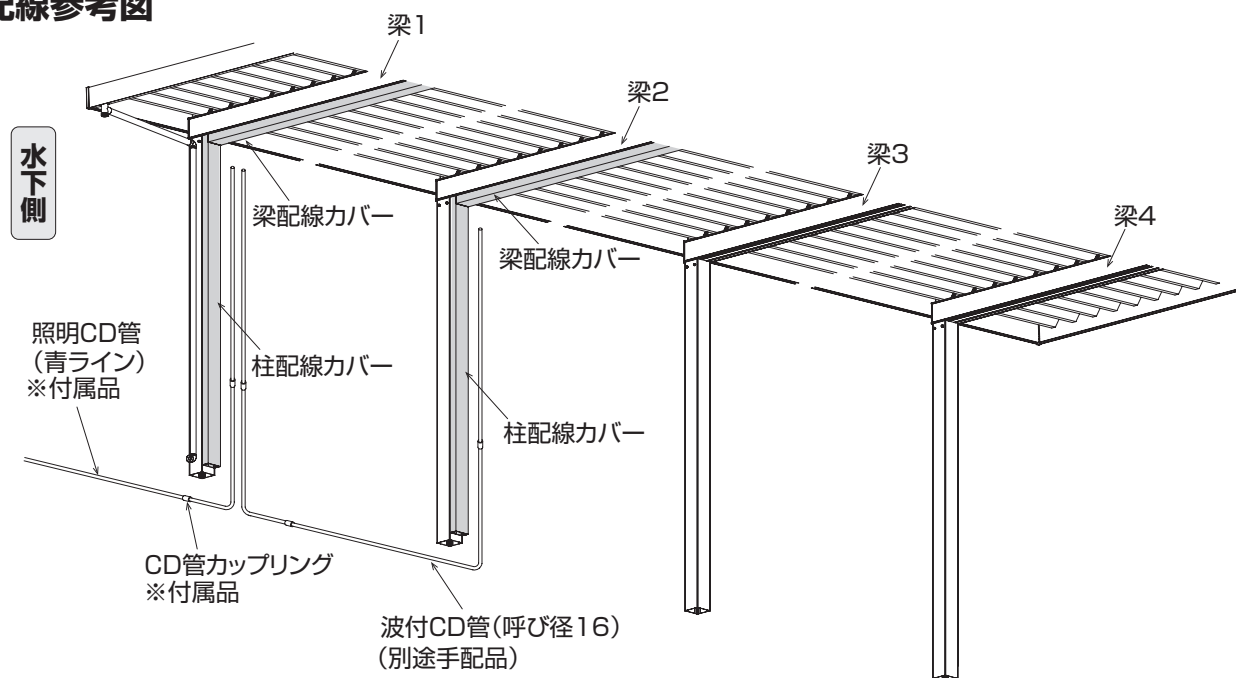
● ダウンライト、センサー取り付け位置



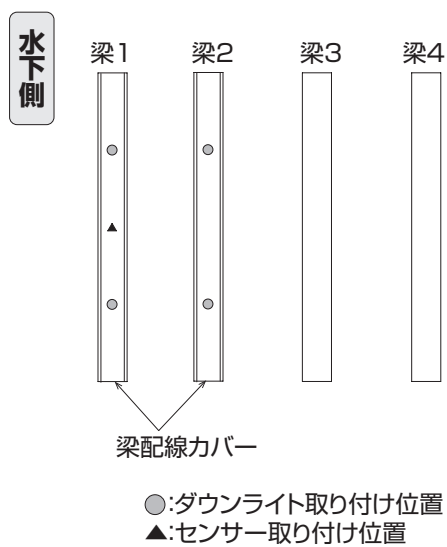
2本の梁にダウンライト4個を配置

- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図



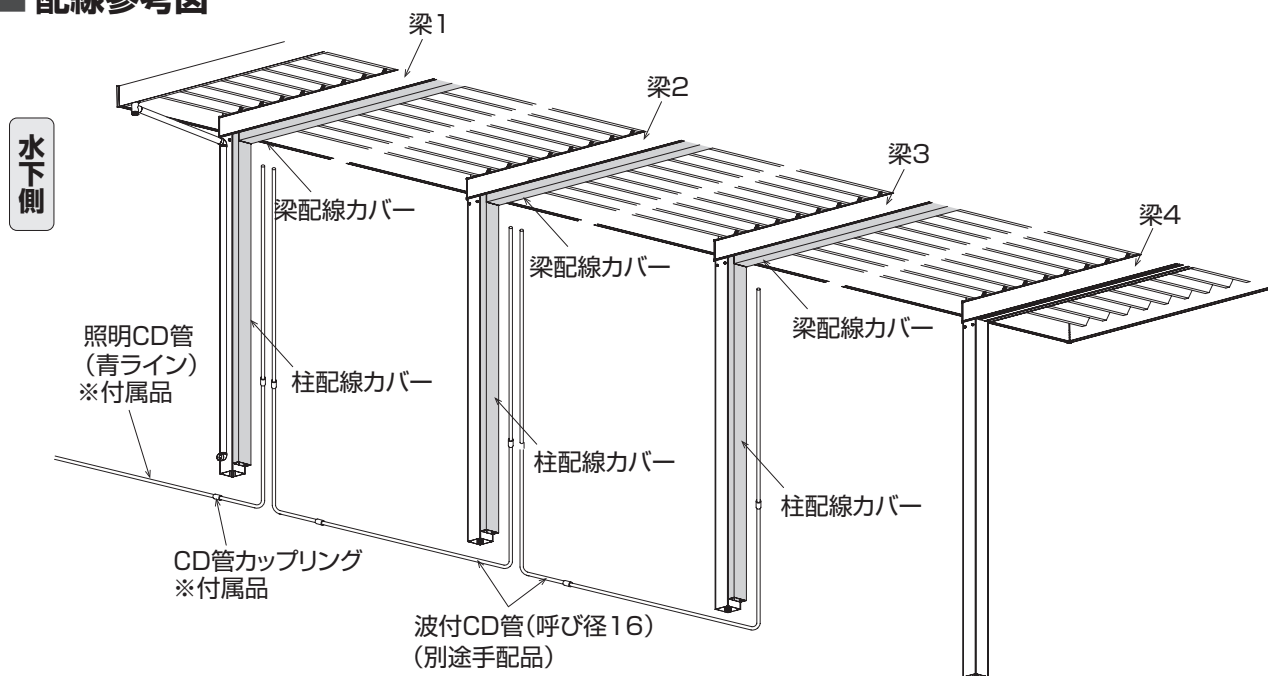
● ダウンライト、センサー取り付け位置



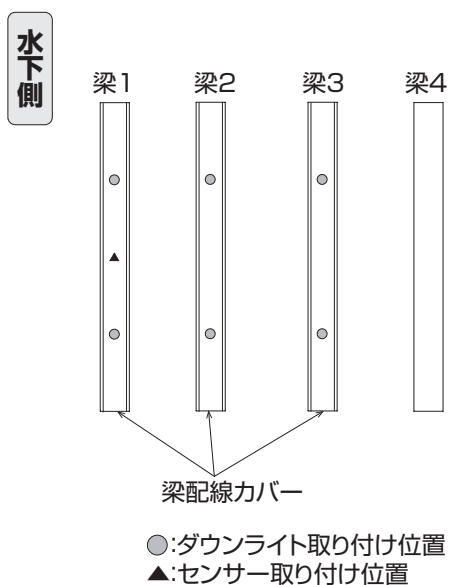
3本の梁にダウンライト6個を配置

- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図



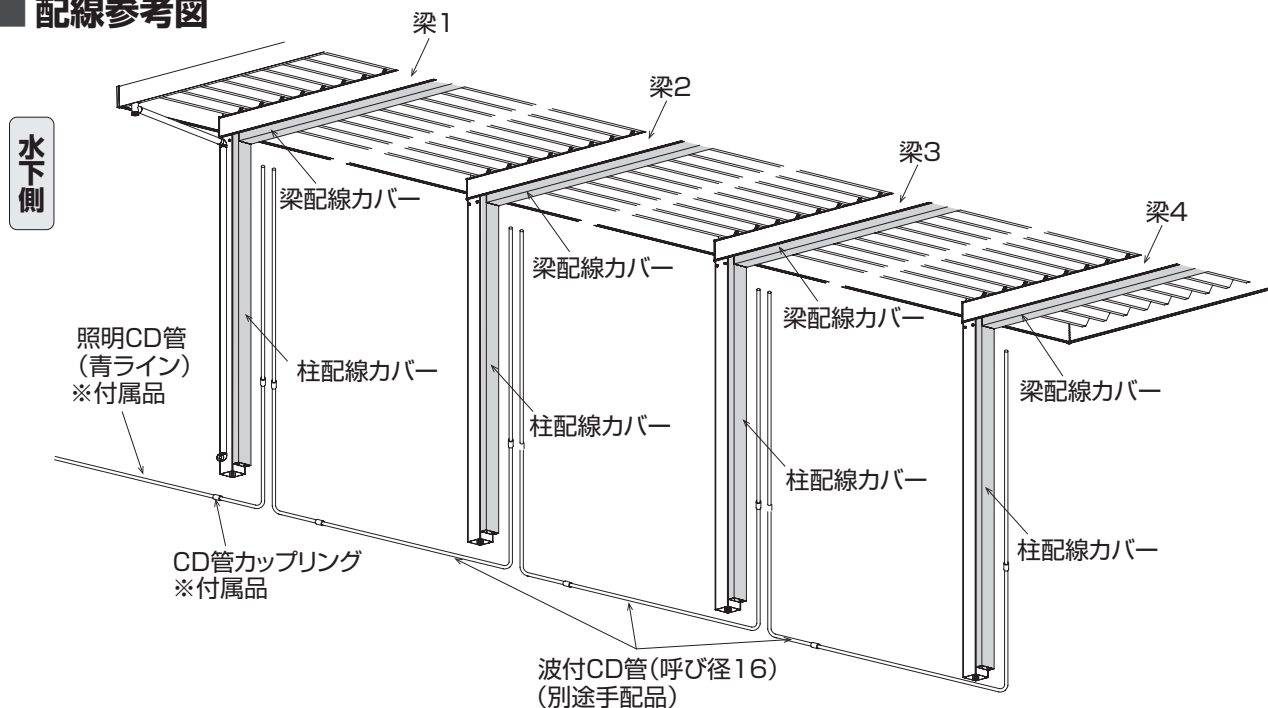
● ダウンライト、センサー取り付け位置



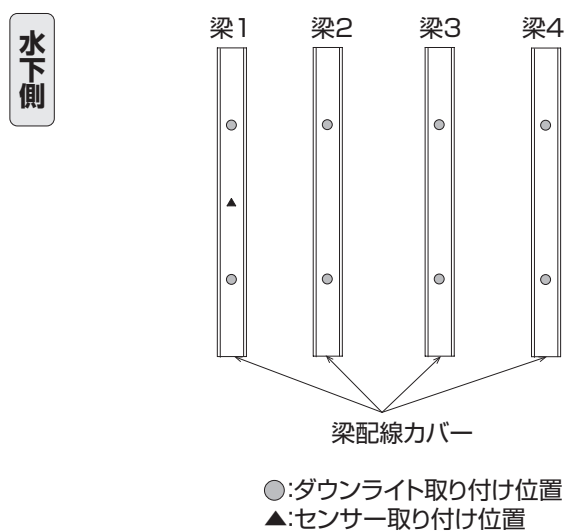
4本の梁にダウンライト8個を配置

- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図



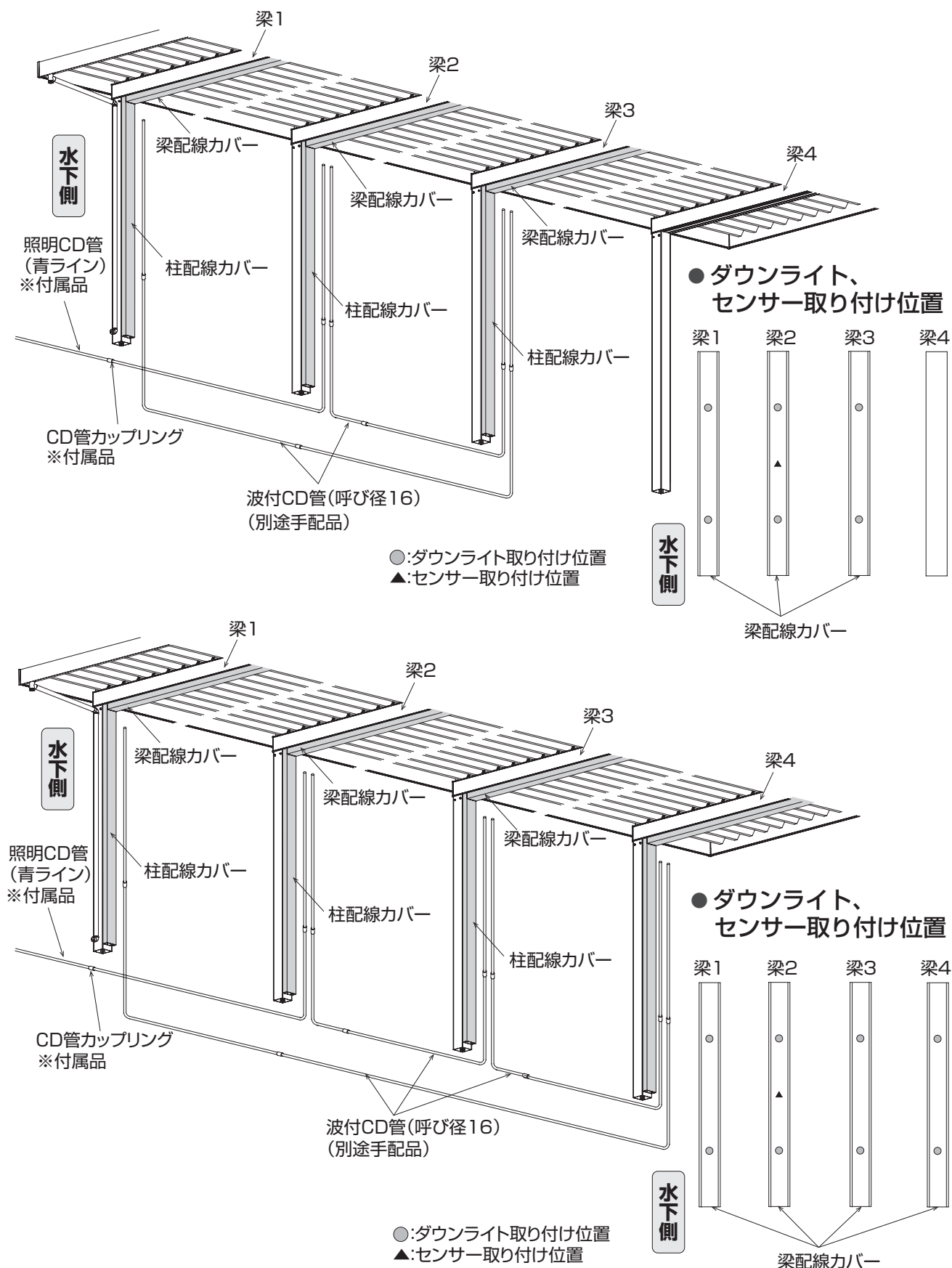
● ダウンライト、センサー取り付け位置



センサーを最初の梁ではなく、中間の梁に配置

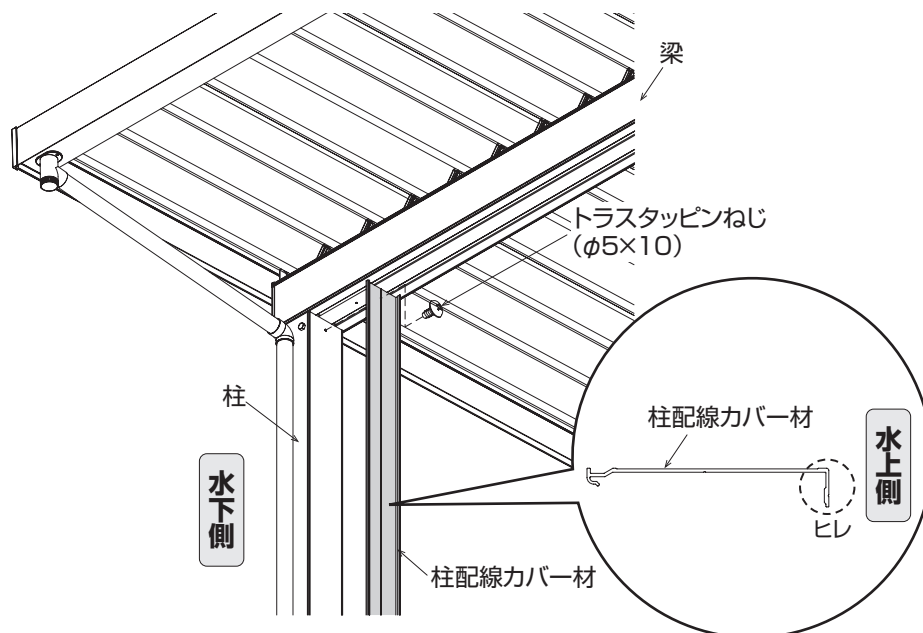
- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図

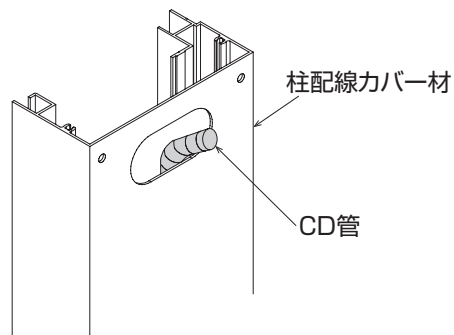


柱配線カバーの取り付け

- 1** 柱配線ベース材をヒレが水上側に向くように柱に取り付けてください。

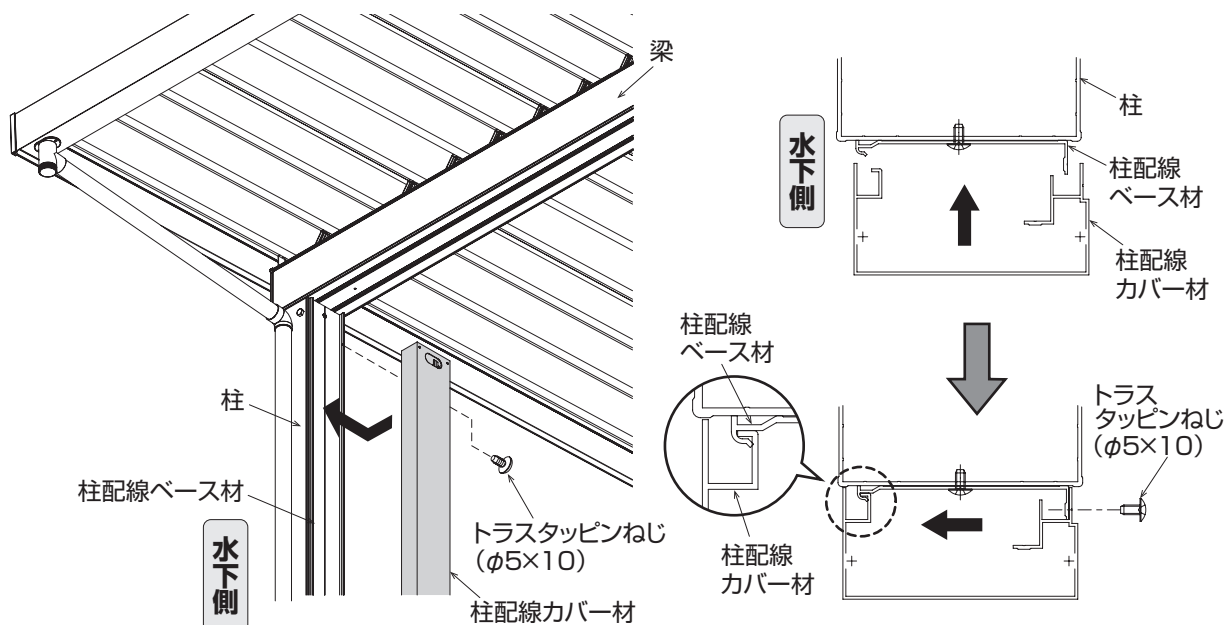


- 2** CD管を柱配線カバーに入れ込んでください。(P.20参照)



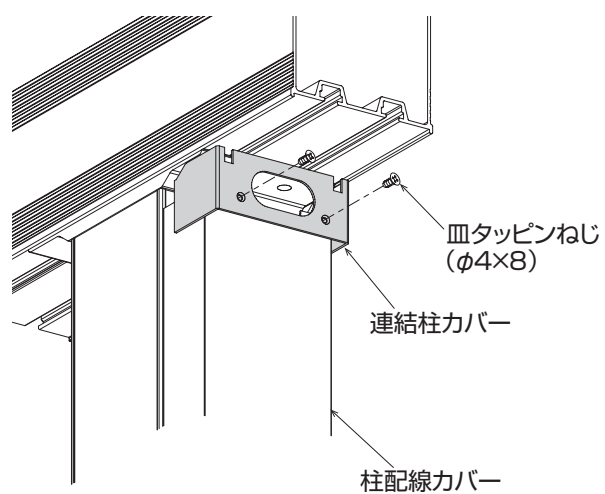
- 3** 柱配線カバー材を柱配線ベース材に入れ込み、横にスライドさせて取り付けてください。

- 4** 柱配線カバー材をねじで取り付けてください。



連結柱の場合

- 1 連結柱カバーを柱配線カバーに取り付けてください。



柱の埋め込み

⚠ 注意

- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤（急結剤など）や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。
柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- ダウンライトは、基礎コンクリートが十分に固まってから取り付けてください。
カーポートが傾き、家屋やフェンスなどが破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 屋根ふき材の取り付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。（目安：4日～7日）
基礎の強度低下につながるおそれがあります。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。
- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。
穴がない場合、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

お願い

- コンクリートやモルタルなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリートやモルタルが固まる前に行ってください。
固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。

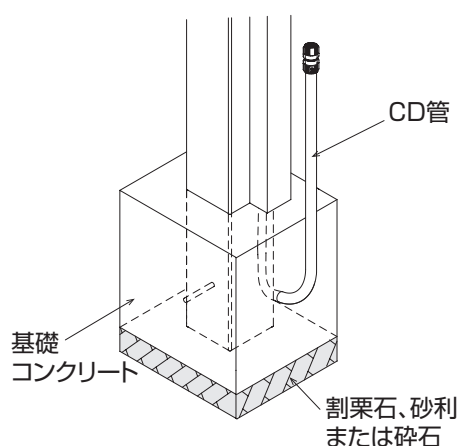
1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、CD管を出して基礎コンクリートを打ち込んでください。

お願い

- コンクリートは十分に締め固めてください。
ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。
- 柱の水抜き穴はコンクリートなどで塞がないでください。塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。水が溜まり腐食の原因および思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

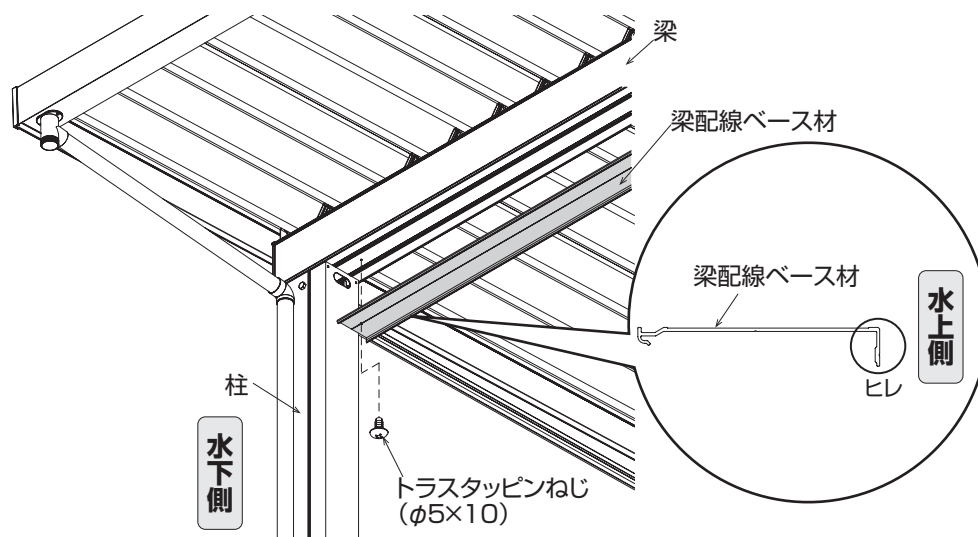


- 柱の埋め込みと電気工事の時期が異なる場合は雨水などが入らないよう、CD管の先端をビニールなどで塞いでください。



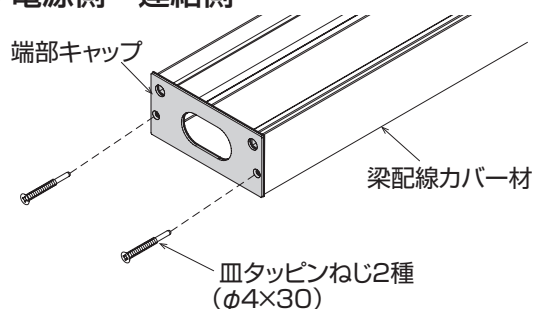
梁配線カバーの取り付け

- 1** 梁配線ベース材をヒレが水上側に向くように梁に取り付けてください。

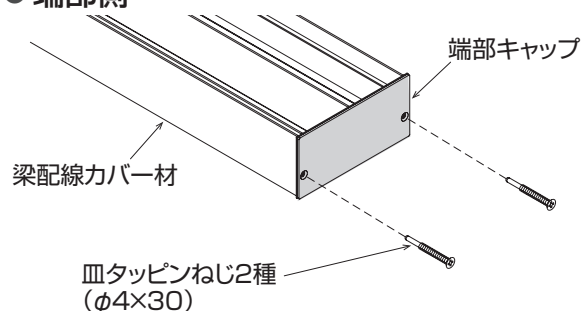


- 2** 端部キャップを梁配線カバー材に取り付けてください。

●電源側・連結側

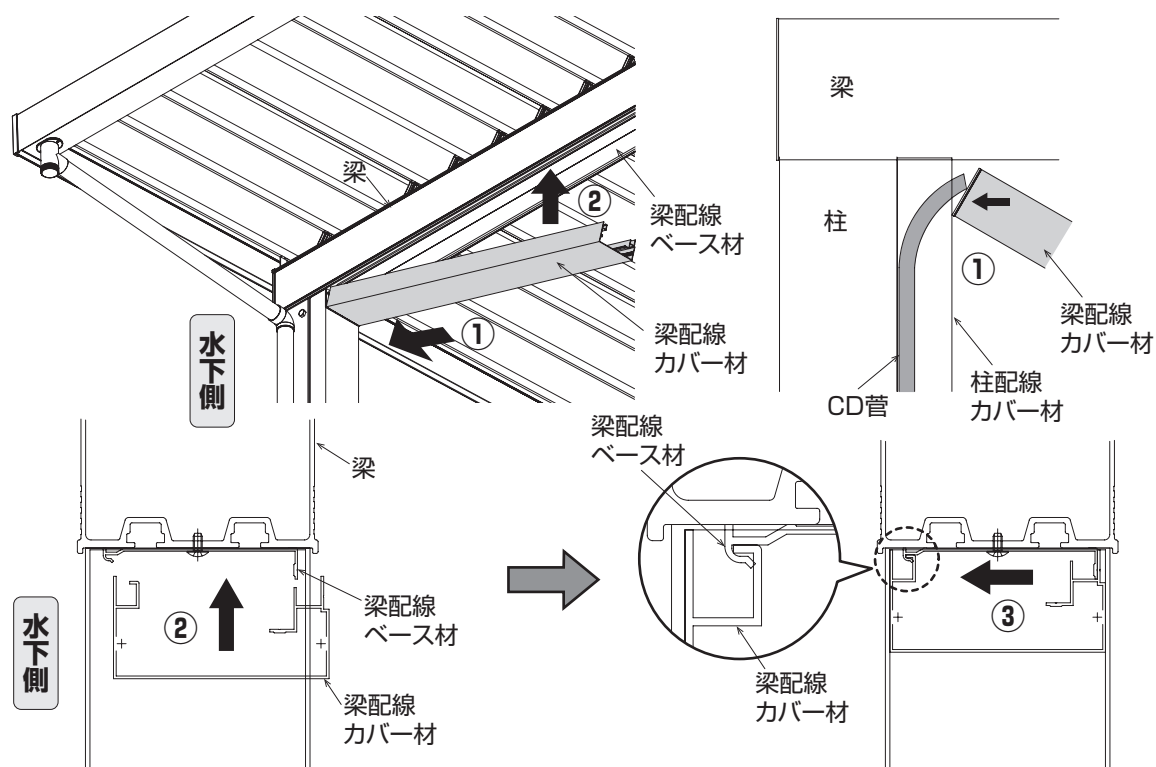


●端部側

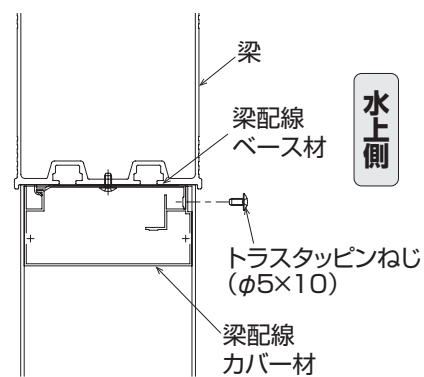
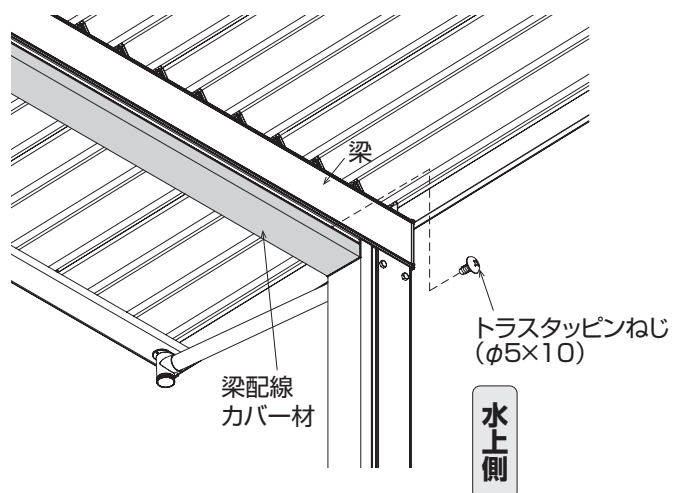


- 3** 梁配線カバー材にCD管を入れ込んでください。

- 4** 梁配線カバー材を梁配線ベース材に入れ込み、横にスライドさせて取り付けてください。



5 梁配線カバーをねじで取り付けてください。



配線およびセンサー、照明の取り付け



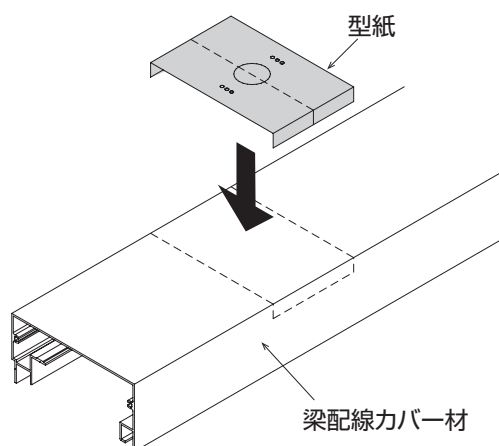
- 1 別冊の電気工事説明書を参照して、配管・配線およびセンサー・照明の取り付けをしてください。

梁配線カバー材加工用型紙

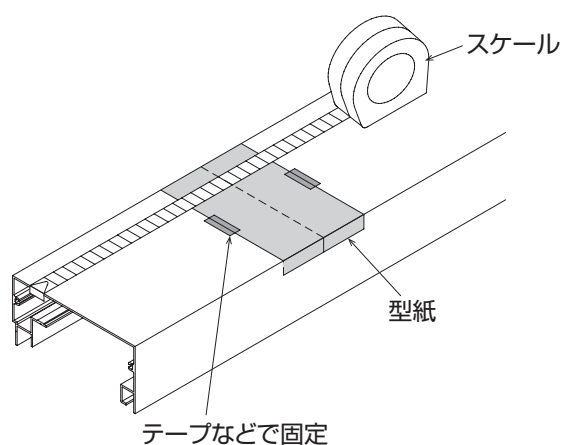
照明加工用手順

1 照明切り欠き加工用型紙を使用し、加工位置をけがいてください。
「照明切り欠き加工用型紙（→P.35）参照」

① 型紙を山折りし、梁配線カバー材の上に配置してください。

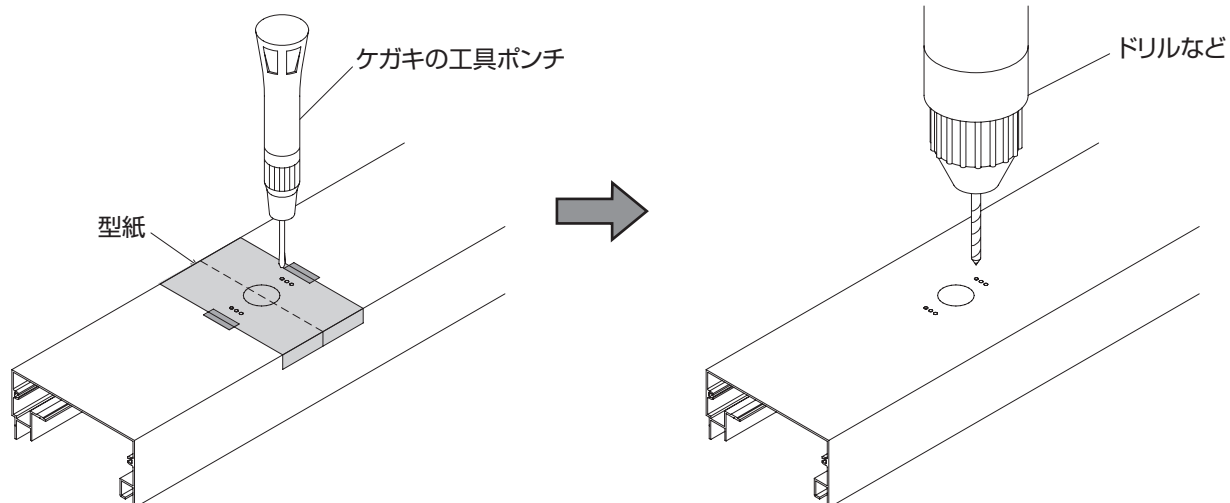


② 型紙の破線を指示寸法にあわせ、位置を決めてください。



③ 加工位置をけがいてください。

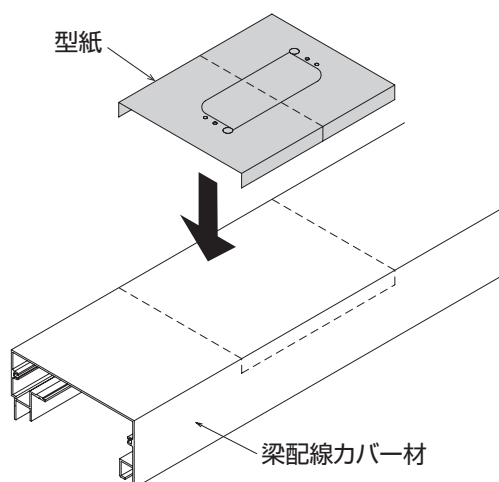
④ 型紙をはずし、ドリルなどで加工してください。



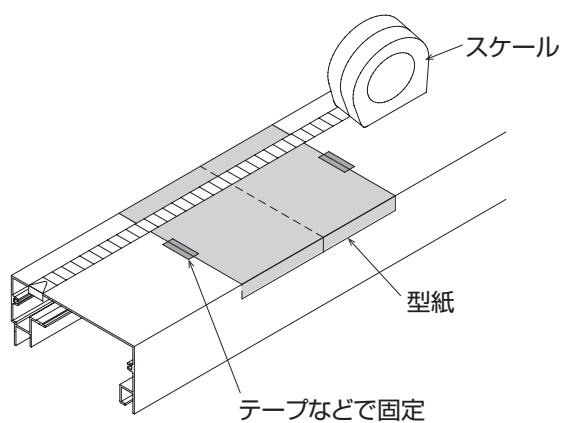
センサー加工用手順

1 センサー切り欠き加工用型紙を使用し、加工位置をけがいてください。
「センサー切り欠き加工用型紙（→P.37）参照」

① 型紙を山折りし、梁配線カバー材の上に配置してください。

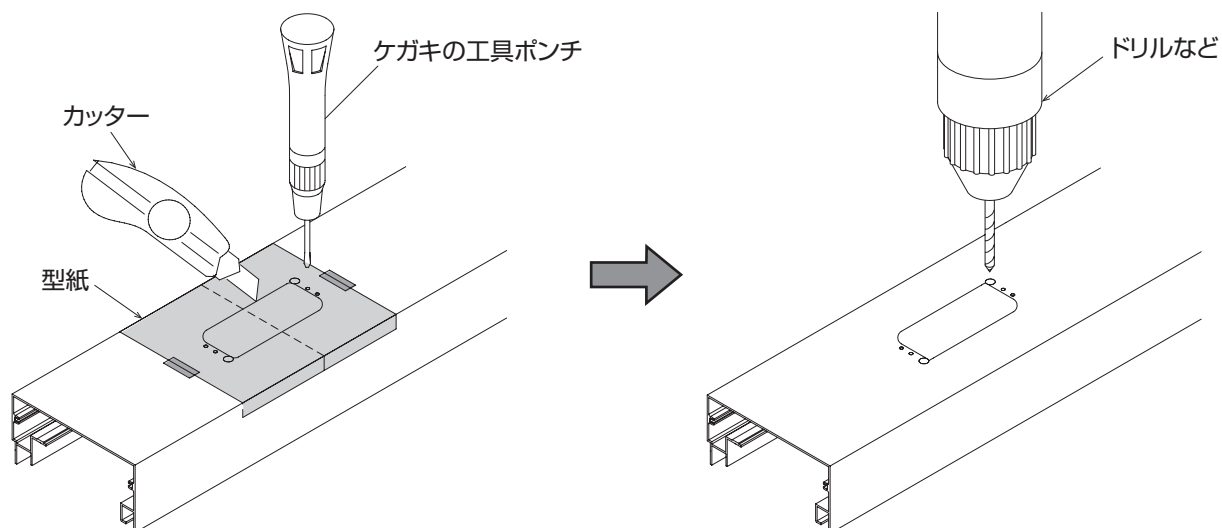


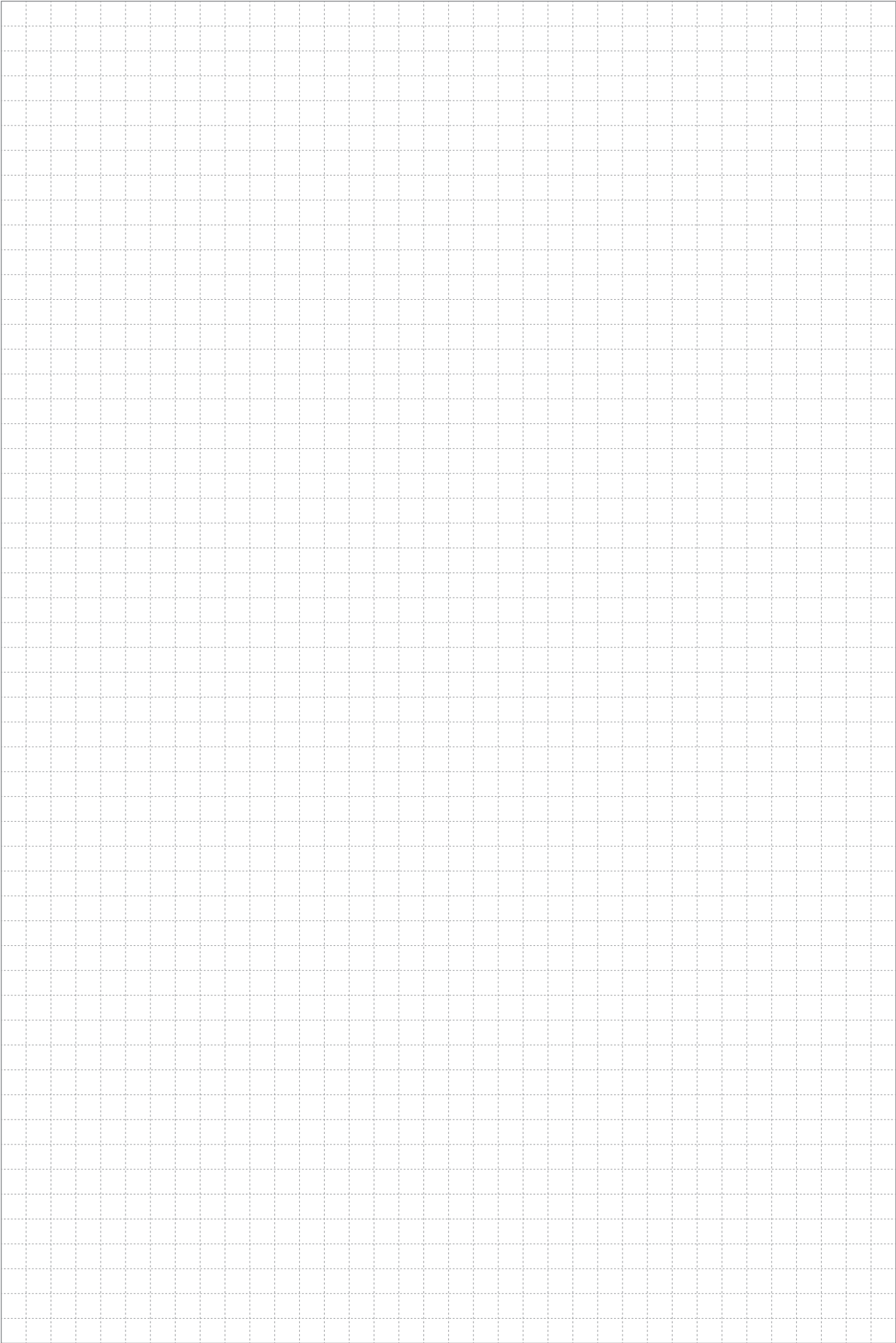
② 型紙の破線を指示寸法にあわせ、位置を決めてください。



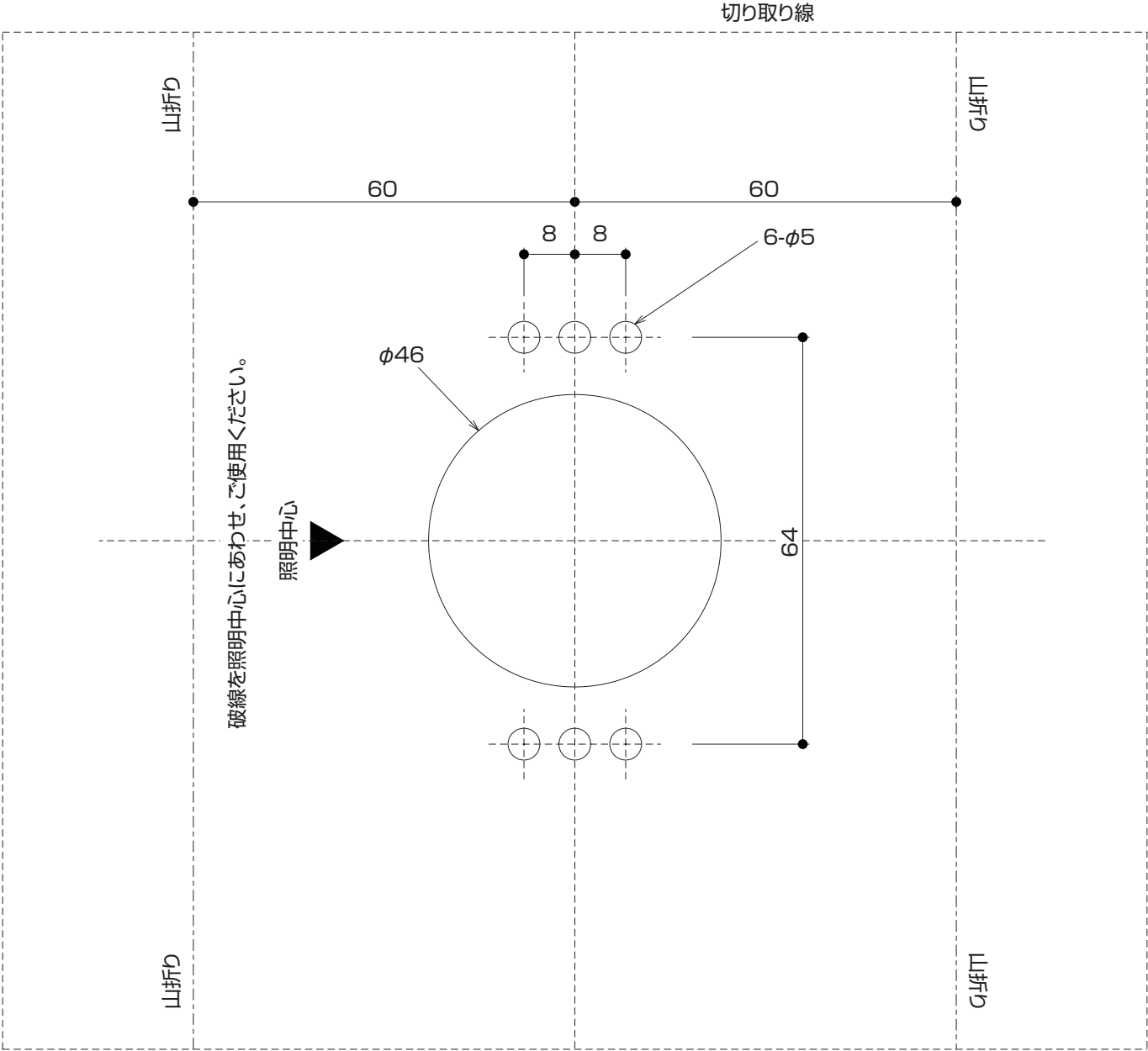
③ 加工位置をけがいてください。

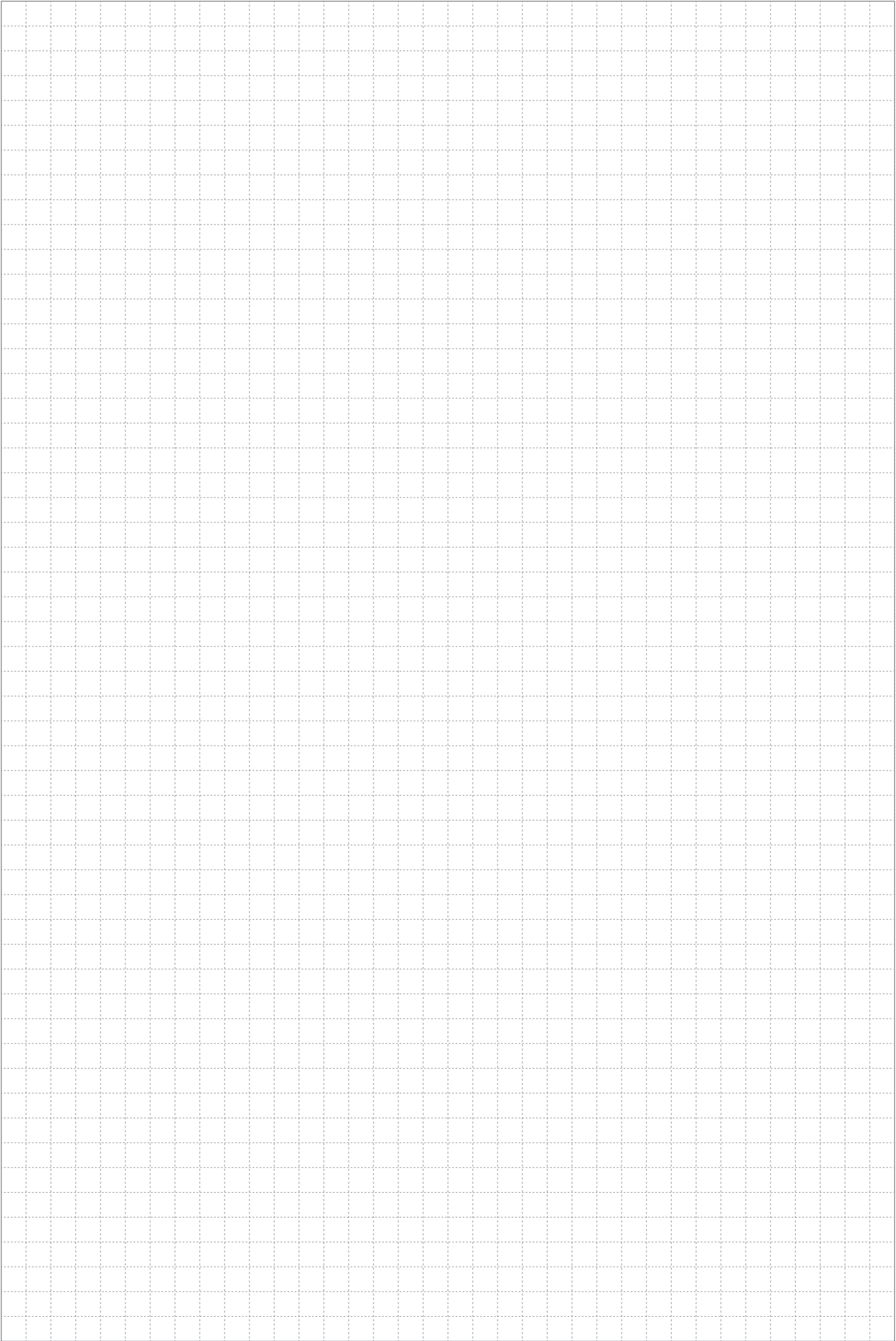
④ 型紙をはずし、ドリルなどで加工してください。



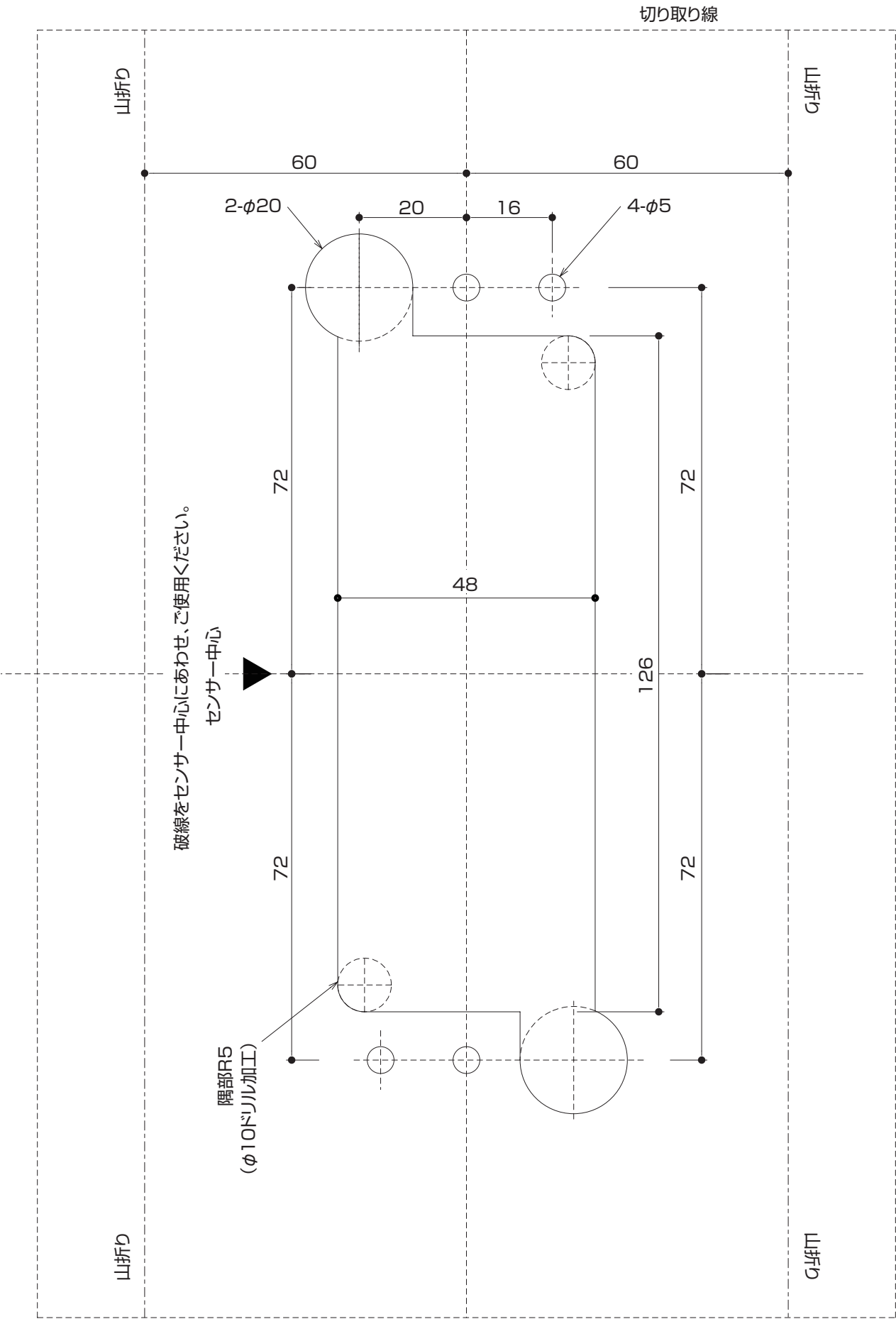


■ 照明切り欠き加工用型紙





■ センサー切り欠き加工用型紙



This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

ホームページ <https://daisen-exterior.jp/>